No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1		政治家の真実の口今いづこ	①真実の口
2		節分やノルマはきつい年の数	②節分
3		つくろいも絎台もなく針供養	③針供養
4		舌たらずロもぐもぐと実直に	①真実の口
5		サギ電話真実の口撃退す	①真実の口
6		年の数食べきれず鬼は外	②節分
7	堀越 健二	大声で鬼嫁さけぶ鬼は外	②節分
8	堀越 健二	鬼妻のウップン晴す鬼は外	②節分
9	堀越 健二	ジジ目掛け豆をぶつけて鬼は外	②節分
10	冬きつい	軍手はめ真実の口そっと入れ	①真実の口
11	冬きつい	ウクライナ戦争はソト平和ウチ	②節分
12	冬きつい	針供養裁縫遠くなりにけり	③針供養
13		焦げたっていいの夫に食べさせる	①真実の口
14		今朝もまたデイサービスに積み込まれ	①真実の口
15		万歩計犬も迷惑がっている	①真実の口
16		足だけが若返らないバス旅行	①真実の口
17		万策が尽きたところで神が降り	①真実の口
18		妻置いて別の惑星行った夫	①真実の口
19	ビビリン	ホントかよ真実の口故障中	①真実の口
20	ビビリン	皆はウチ今日も仕事で俺はソト	②節分
21	ビビリン	針供養仕事納めか仕置人	③針供養
22	一寸法師	豆鉄砲今年は脛によく当たる	②節分
23	一寸法師	宇宙から糸通しする三代目	③針供養
24	一寸法師	待ち針もお椀の舟に乗せて行く	③針供養
25		そのロで私の恋も伝えてよ	①真実の口
26		鬼は外子供の声に笑みあふれ	②節分
27		針供養おえて浅草散策へ	③針供養
28	昌平	真実をつら貫き通すペンの先	①真実の口
29	昌平	豆の数食べきれないと高齢者	②節分
30	昌平	母さんの縫う針聞いて床につき	③針供養
31	細川 秀一	鬼ヶ島断髪式で福は内	②節分
32	細川 秀一	赤鬼を昼にやったら夜は青	②節分
33	細川 秀一	鬼やって金棒ないから杖握る	②節分
34	グラスワレター	蓄音機ターンテーブルに絹豆腐	③針供養
35	グラスワレター	午前様角出す家内鬼は内	②節分
36	グラスワレター	桃太郎大豆の栽培鬼ヶ島	②節分
37	洋星(ようせい)	手を入れてうそをついても抜けますよ	①真実の口
38	洋星(ようせい)	福はにげ鬼でもいいよ来ておくれ	②節分
39	洋星(ようせい)	針山は地獄の鬼が供養する	③針供養
40	山下 仁次郎	払うには鬼が多すぎ豆たらず	②節分
41	山下 仁次郎	さみしいと確かに言った大昔し	①真実の口
42	山下 仁次郎	使われずねたきりの針どう供養	③針供養
43	里村無心斎	おずおずと自信なさげに手を入れる	①真実の口
44	里村無心斎	「鬼は外」たのみもせずにやって来た	②節分
45	里村無心斎	針供養一番目立つ畳針	③針供養
46	バルサミコひろし	湯どうふで心のトゲも針供養	③針供養
47	バルサミコひろし	真実は言わぬが花のＳＮＳ	①真実の口
48	バルサミコひろし	「鬼は外」一度上司に言いたいな	②節分
49	亡国兆(きざし)	国会に真実の口入り口に	①真実の口
50	亡国兆(きざし)	平然と嘘付く議員出世する	①真実の口
51	亡国兆(きざし)	節分も外国移民消えるのみ	②節分
52	鈴木 英子	ヘバーデンどこにささるか針の先	③針供養
53	鈴木 英子	ピーターのやっと仕上げにパッチワーク	③針供養
54	鈴木 英子	コロナ鬼やっと並んだインフルに	②節分
55	長谷川 浩一	ペップパン真実の口はコッペパン	①真実の口
56	長谷川 浩一	節分を接吻と間違い鬼となる	②節分
57	長谷川 浩一	永生きに針供養をして針治療	③針供養
58	台魚	真実の口で言ってよパーティー券	①真実の口
59	台魚	針供養豆腐の身にもなってみよ	③針供養
60	台魚	真実の口を置きたい永田町	①真実の口
61		歳の数豆を食うには歯が足りず	②節分
62		これ平和おやじ外なら主婦は家	②節分
63		鬼役の妻の形相面いらず	②節分
64		オードリー間違えごめんドリフネタ	①真実の口
65		鬼の面コロナと比べてかわいいね	②節分
66		”しもつかれ”撒く豆控えてごちそうに	②節分
67	不良長寿	ヘプバーン真実の口なつかしい	①真実の口
68	不良長寿	政治家に真実の口あるのかナ	①真実の口
69	不良長寿	喜寿過ぎて糸を通せぬ針供養	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
70	もしもしかめよ。	あさおきてまいにちおまいりにっかです。	
71	岡田 愛子	パーティー券真実の口が暴きます	①真実の口
72	岡田 愛子	八十五豆を拾う間に日が暮れて	②節分
73	岡田 愛子	鬼は外不倫の夫はいりません	②節分
74	ノアール	不気嫌なママが鬼では面いらず	②節分
75	紘一	秘書さんは真実言えぬもどかしさ	①真実の口
76	紘一	八十路過ぎ手の平あふる豆の数	②節分
77	紘一	飢えしのぐ母の裁縫針供養	③針供養
78	アン爺	写真撮りイタリア旅行と嘘をつき	①真実の口
79	アン爺	梅安も商売道具の針供養	③針供養
80	素浪人	初デートキスはつれない隅田川	①真実の口
81	素浪人	大谷かフォークで投げる鬼は外	②節分
82	素浪人	コンニャクに刺す待針のいとおしさ	③針供養
83	ニャニャ	鬼は外鬼は外だよ鬼は外	②節分
84	すずめ	豆まいて福を呼び込み邪をはらう	②節分
85	ゆな	鬼は外鬼は外だよ鬼は外	②節分
86	藤村	歳の数毎年一粒増えていく	②節分
87	スルメ	豆なげて片付けまでが節分だ	②節分
88	ココ	豆投げておには外だし福は内	②節分
89	ミズモ	鬼は外鬼は外だよ鬼は外	②節分
90	豆	鬼は外ふくはうち豆は腸	②節分
91	りるこに	豆まいて鬼は外へ福は内	②節分
92	Kメロ大先生	心の中悪魔のささやきおにわそと	②節分
93		おにわそと豆投げたときるんるんだ	②節分
94	にゃらお	豆投げて悪を倒して善を得る	②節分
95	にゃらお	悪霊を豆投げて封いんだ	②節分
96	にゃらお	年の数豆を食べて健康に	②節分
97		始まりは豆を投げると逃げたから	②節分
98		悪を出し善を運ぼう年豆で	②節分
99	ジョン	豆つかみ祈りを込めて鬼へ投げ	②節分
100	ジョン	鬼の面着けて逃げるも兄心	②節分
101	ジョン	豆食べて歳を取ったと感じる日	②節分
102	ふうか	おにはそと豆をまいたらふくはうち	②節分
103	ツキ	豆をまき福を招いて幸せだ	②節分
104	青二才なローニンアジ	節分の豆は単なる新聞紙	②節分
105	青二才なローニンアジ	鬼は外鬼役はたぶん親父さん	②節分
106	青二才なローニンアジ	豆食べて来たる幸せ福は内	②節分
107	９℃だって	まめをまく今年は十七個まめを食う	②節分
108	９℃だって	おにがくるかめんをかぶってやってくる	②節分
109	９℃だって	ようちえん豆まきをやったねなつかしい	②節分
110	高田ちゃん	豆をまく悪意をまいて善意へと	②節分
111	いもけんぴ	豆痛し鬼は涙目逃げていく	②節分
112	いもけんぴ	えほうまきとぎれさせない心ざし	②節分
113	藤井江里奈	鬼は外福は内豆で借置	②節分
114	鉄道ヲタク	節分は2月の始めにする行事	②節分
115	山神樹	鬼は外お父さん鬼に豆なげる	②節分
116	山神樹	節分に鬼は変装子ども泣く	②節分
117	山神樹	豆なげる鬼は外へ福は家	②節分
118		豆まけば豆で遊ぶなとしかられる	②節分
119	渡辺紗羅	お鬼たちは豆をなげられかわいそう	②節分
120	冬はくまさん	ふくはうち鬼はいらへんふくをくれ	②節分
121	冬はくまさん	ふくをくれごうゆうするぞえっなんで	②節分
122	冬はくまさん	豆食べる十六個もパサパサや	②節分
123	谷川	豆なげて悪はバイバイ鬼は外	②節分
124	ブルヘ	豆を持ちねらいをさだめ本気でまく	②節分
125	ブルヘ	タンスの下そうじをしたら豆出てくる	②節分
126	クマ	投げた豆飛び散り片付けめっちゃ大変	②節分
127	トマト	鬼は外福は家にいらっしゃい	②節分
128	トマト	年一回歳の数だけ食べる豆	②節分
129		豆まきで不幸は外へ幸内へ	②節分
130		豆まくが庭のそうじがおにだるい	②節分
131	とき	年の数マメ食べておいしいな	②節分
132		おにさんをまめでやっつけふくのかみ	②節分
133	らーゆ。	せつぶんまめまきしようたのしいよ	②節分
134	チーズ蒸しパン	豆ってねぶつけられるとわりと痛い	②節分
135	はる	節分の季節が来てもまだこたつ	②節分
136	はる	鬼は外小さい豆で意味あるの？	②節分
137	黒電話	えほうまきもくもく食事夢願う	②節分
138	パン	豆まきで家族団欒嬉しいな	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
139		ふくはうち歳の数だけ食べる豆	②節分
140	ころがっている豆	こわすぎてい力のせいぎょ忘れてる	②節分
141	ころがっている豆	鬼に向け全力投球ようしゃなく	②節分
142	ころがっている豆	誰だろう関係ないな鬼だもの	②節分
143	ちゃそ	明るい声飛びかう中で鬼ぼっち	②節分
144	難波俊太	「おにはそと」色んなとこから声あがる	②節分
145	唯翔	おにだいじ一緒にしようレッツゴー	②節分
146	唯翔	節分とは今だにわかんない高校生	②節分
147	唯翔	じんじゃめぐりこの季節が一番よい	②節分
148	羊	私には豆の数がものたりない	②節分
149	プリン	鬼は外豆をまいては幸を呼ぶ	②節分
150	プリン	お父さんお面をかぶり外へ出る	②節分
151	プリン	年の分豆を食べては幸わせだ	②節分
152	SBI.kio	豆まいて歳の数だけ豆食べる	②節分
153	メイ	鬼たいじ顔面めがけマメ飛ばす	②節分
154	一番怖い鬼は母親	節分は年を数えず豆食べる	②節分
155	フナ	さぁなげろ豆は強いよ福よ来い	②節分
156	あかしけやなげ	福は内鬼も内じゃだめですか	②節分
157		豆まきでわるいところをとりけそう	②節分
158	ケツ穴確定	豆まきおには外へ福は内へ	②節分
159	スミ	おにはそとふくはうちでさ鬼たいじ	②節分
160	海音	豆をまき悪気をはらい良い年に	②節分
161		鬼はそと鬼をたおして健康に	②節分
162	コーヒー豆	鬼は外出て行く鬼は豆拾う	②節分
163	みく	節分だ豆を食べる日としのかず	②節分
164	くーちゃん	大好きだまめまきした後食べるまめ	②節分
165		節分は悪いものをおいはらう	②節分
166	リンゴデス	鬼がきた豆を手にとりなげつける	②節分
167	寒川	鬼は外豆を使って鬼たいじ	②節分
168	ゆの	節分は鬼を追い出し幸福を	②節分
169	＊	悪はらい豆をふりまき福来たれ	②節分
170	ハリネズミ	節分で鬼に豆まき楽しいな	②節分
171		１年のやくをはらって福を呼ぶ	②節分
172	りりねこ	鬼は外福を呼んでみな笑顔	②節分
173	りりねこ	恵方巻き今年の向きはどこだろう	②節分
174	りりねこ	豆をまきみんなで回集あれ足りない	②節分
175		豆投げて鬼追い出すなんでなん	②節分
176	さく	年の数豆を食べるのしんどいよ	②節分
177	ニュウドウカジカ	まめまきをたのしむこどもかわいいな	②節分
178	あ	ぱらり舞う豆まき合戦投げ合いだ	②節分
179	竹！	今の世代まめまきする家めずらしい	②節分
180	あみ	おにわそと豆食べるのがきつすぎる	②節分
181	前	節分で家族みんながハッピーだ	②節分
182	をくら	鬼は外不運なくして福は内	②節分
183	をくら	豆まきは毎年鬼で泣いた俺	②節分
184	ぬ	父に豆全力投球子鬼達	②節分
185	ナッツ	悪いもの豆をなげておっぱらえ	②節分
186	ナッツ	豆なげて悪ものおっぱらい幸せに	②節分
187	ナッツ	鬼たいじ誰でも気軽にやってみよ	②節分
188	こーし	節分だ鬼は外福は内	②節分
189	ねむいですね～	節分は豆まきするよしってるね	②節分
190	カナト	正月に良い年めざし豆をまく	②節分
191	カナト	豆をまき自分の年だけ豆を食う	②節分
192		豆まいて鬼にぶち当ていたそうだ	②節分
193	ぱるぱる	豆まきをしたいけれど大変だ	②節分
194	な	節分をみんなで楽しみ鬼は外	②節分
195	しお	やく年を豆をなげつけおいはらう	②節分
196	しお	豆をまきウイルス外へふくはうち	②節分
197	ヤギ丸	節分で豆を食う時現実を	②節分
198	ヤギ丸	節分は大人は笑い子供泣く	②節分
199	ヤギ丸	節分に豆を食べて口乾燥	②節分
200	ゆな	節分で日ごろのうらみはらすおれ	②節分
201	あ	鬼は外福と笑顔を呼び入れろ	②節分
202	岡村康平	鬼は外福は内で家内安全	②節分
203	えだまめ	豆の数五年後くらいが丁度いい	②節分
204	えだまめ	豆まいて足つぼ屋敷健康的	②節分
205	ぽちゃん	鬼の顔トラウマレベルこわかった	②節分
206	あさりのみそしる	年の分豆を食べれば腹いっぱい	②節分
207	菜	鬼は外福のみならず鳩も内	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
208		えほう巻き節分にはかかせない	②節分
209	よろしい	悪をすて温かい春桜まだ	②節分
210	Ami	おにたいじ豆を飛ばせおにこわい	②節分
211	ちゆき	毎年ね鬼が来るけどもう慣れた	②節分
212	ゆきみだいふく	先生が鬼だと知ったとある冬	②節分
213	うさぎ	おにわそとふくはうちには鬼もこない	②節分
214	豆大ふく	節分でどちらも内になげたいな	②節分
215	ペンネーム	恵方巻今年はどこに向くんだろ	②節分
216	ピクミン	節分の鬼に投げる豆おいしくない	②節分
217	なにふぁむ	豆まきをみんなでするとたのしいネ	②節分
218	なにふぁむ	鬼役は豆が当たるとバカ痛い	②節分
219	なにふぁむ	子供はね鬼が怖くてトラウマだ	②節分
220	金をくれー	落ちた豆もったいないなぁ拾い食い	②節分
221	佐々木	おには外豆を投げて福は内	②節分
222	おでん	２月には東北東に向いている	②節分
223		玄関にいわしの頭鬼退治	②節分
224	みかん	節分豆年々増える食べる数	②節分
225	伊藤魁斗	泣きわめく小さい子どもと鬼の顔	②節分
226	小エビサラダ	豆まきを始めようか節分で	②節分
227	センリュウ	豆まけば鬼は外に行き福来たる	②節分
228	ペンタン	節分の鬼の役目を受け付くよ	②節分
229	ペンタン	豆まきの豆を袋でまきましょう	②節分
230	かばおくん	鬼は外豆をぶつける福は内	②節分
231	きな粉もち	鬼に豆笑顔に変える節分の日	②節分
232	きな粉もち	豆まきの楽しさ広がる笑顔の団	②節分
233	きな粉もち	豆の音驚いた顔が笑い誘う	②節分
234	なし	年の数食べる大豆は数知れず	②節分
235	なし	年を取り豆投げた者投げられる	②節分
236	なし	年々といつしか親は鬼をせず	②節分
237	おもち	節分の鬼に豆をまく日だな	②節分
238	竹田	お正月こたつでみかんを食べたいな	②節分
239		えほうまきみんなで食べてうれしいな	②節分
240	ペン	まめをもちししまい向えうつも大泣に	②節分
241	ごわす	年の数数えるだけで気が狂う	②節分
242	たい焼き	節分にお豆をまいて鬼たいじ	②節分
243	たい焼き	まく豆を食べてしまっておこられる	②節分
244	たい焼き	節分だ？豆まきよりも睡眠だ	②節分
245		節分はね鬼に向かってなげるまめ	②節分
246	SOTA	豆まきはとても楽しいことだよね	②節分
247	和田野乃花	今もまだ家に来た鬼覚えてる	②節分
248	ゴワス	バリバリと年の数だけ豆食べる	②節分
249	あるぱか	思い出す昔の豆まきなつかしい	②節分
250	タク	節分で鬼に豆まく福は内	②節分
251	フロイト	これ美味い思わずつぶやく絵本巻き	②節分
252	トクダ	としの数豆を食べろとおどされる	②節分
253	マッチョ君	次にへと気持ち切り変へ来年へ	②節分
254	マッチョ君	邪鬼祓い次の年へのスタートへ	②節分
255		両親にささもう一つと喰わす豆	②節分
256	ペン	豆まくとSDGsを守れない	②節分
257	ペン	かわいそうパパが鬼役死んじゃうよ	②節分
258	藤さん	大豆をね歳の量食べ福は内	②節分
259	ここ	甘々な父親娘に泣かれる日	②節分
260	もえな	豆投げて翌日道路にハトポッポ	②節分
261	明太フランス	節分は鬼をはらって良い一年	②節分
262	有馬愛梨	豆まいて悪い鬼を退治しよう	②節分
263	いちご	おになんてこわくないんだ豆まきで	②節分
264		節分だ悪いものだけ福は内	②節分
265	カニ	まめなげて福よびこんでおにたいじ	②節分
266	ゆあ	豆投げて鬼が消えたら僕の勝ち	②節分
267	ゆあ	豆握り涙我慢し投げ飛ばす	②節分
268	しん	鬼は外豆を持ってぶち投げろ	②節分
269	しん	この豆に幸せ願って鬼は外	②節分
270	てぃらーの	節分はお面と豆の戦いだ	②節分
271	トキ	豆投げて周りの邪気は鬼は外	②節分
272	のぞりね	鬼さんへ毎年方向変えないで	②節分
273	ちかん	鬼にむけ豆を投げる実は父	②節分
274	ちかん	悪いもの豆と一緒に外に出す	②節分
275	うさぎ	お豆さん鬼追い出そう鬼は外	②節分
276	うさぎ	歳の数豆を食べて健康に	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
277	うさぎ	鬼追い出すそしたら福を	②節分
278	みかん	一年で一番豆を食べちゃう日	②節分
279	マッシュルーム	おには外ふくはふちちち豆まきだ	②節分
280	さしみ	節分で豆食べ放題うれしいな	②節分
281	せり	お豆まきぽいぽいいててたのしいよ	②節分
282	ピンクうさぎ	節分で食べる豆はかくべつだ	②節分
283	カビパン	豆の数歳の数じゃ足りません	②節分
284	カビパン	おにはそと子どもの声が遠くから	②節分
285	あっくん	鬼は外笑顔で呼ぶ福は内	②節分
286	あっくん	豆まいて鬼は外に福は内	②節分
287	アヒル	今年はさどこ見て食べよ巻寿司を	②節分
288	みやこーん！	豆を投げ気分も心も桃太郎	②節分
289	みやこーん！	えほうまき今年はどこを向くのかな	②節分
290	みやこーん！	節分は明りをつけましょぼんぼりに	②節分
291	二階堂造へい	えほうまき口を開けばにらまれる	②節分
292	二階堂造へい	豆ぶつけ痛い痛いとさけぶのは・・・	②節分
293	二階堂造へい	落ちた豆拾って食べてた五年前	②節分
294	アーニャ	節分でこわい鬼たち追い払う	②節分
295	ゆきみ	鬼は外まめまきすると福が来る	②節分
296	がいちんゆー	鬼は外豆つぶ投げて鬼退治	②節分
297	コットン	節分に年の数だけ豆食べる	②節分
298	ゆーみん	お父さんがだいたいおに役福はうち	②節分
299	ゆーみん	笑わずに食べる巻ずしちょー苦戦	②節分
300	チーズ	日々の悪ここではらおう節分で	②節分
301	もえの	鬼はそと福を集める福はうち	②節分
302	てん	豆をまく鬼は出て行き福はうち	②節分
303	ゆめ	豆まきは日本の伝統文化だね	②節分
304	小豆	声そろえ鬼は外福は内	②節分
305	小豆	父親が鬼に変装豆あてる	②節分
306	中尾	おにはそとぱらぱらぱらふくはうち	②節分
307	谷口奏	パラパラとお豆をなげておには外	②節分
308	え	豆まいたそのあとひろって豆食べた	②節分
309		福は内今年のために福を呼ぶ	②節分
310	ＳＴ	豆をまく悪を退ける人の武器	②節分
311	り	悪い鬼たおすをに豆まきを	②節分
312	めんたま	ぱらっぱら鬼は外へ福はうち	②節分
313	そら豆	豆をなげ自分の年だけ豆をくえ	②節分
314	トマト	おには外ふくは家えといらっしゃい	②節分
315	トマト	豆まきでおにさんボコボコやられてる	②節分
316	トマト	えほうまき数分後にはしゃべってる	②節分
317	O.C	おには外仮面の下で父笑う	②節分
318	きょもめろたん	鬼は外福よ来い来い福は内	②節分
319	５	豆を持ち鬼と向き合い開戦を	②節分
320	100円の100円は10円！	食べ物をそまつにするなまじやめろ	②節分
321	100円の100円は10円！	まめまいて鬼をたいじだせつぶんだ	②節分
322	お魚	豆まいて皆を守ろう鬼たいじ	②節分
323	お魚	赤服に仮面かぶって豆まかれ	②節分
324	お魚	顔怖い中身はちゃんとやさしいが	②節分
325	あるかわ	投げるより普通に食べたいお豆さん	②節分
326		楽しいね豆を投げるの楽しいよ	②節分
327		豆をなげ鬼は外福は内とやってくる	②節分
328		豆を食べ元気になるよ	②節分
329	み	豆をまく鬼退治には必要よ	②節分
330	ねこ	豆まいて去年と今年切り変えて	②節分
331	ゆづき	鬼退治豆をまいて豆食べる	②節分
332		鬼は外豆をまいて福は内	②節分
333	たまご太朗子明太子	なくなった豆まく前に食べたから	②節分
334	ピッツァ	豆まきで子供がはしゃぎ響く声	②節分
335	りの	節分はおには外でふくは内	②節分
336	r	おには外皆でまめまき楽しいな	②節分
337	味見学	鬼役をやってる父がかわいそう	②節分
338		豆まいて鬼退治して福よ来い	②節分
339	パンだ	本当は鬼もみんなと過ごしたい	②節分
340	ミミズ	あっちいけ子どもに言われ鬼悲し	②節分
341	ぐみ	鬼は外いっぱい豆投げ福は内	②節分
342	緋真	鬼たいじお豆をなげて追い払おう	②節分
343	瀬戸南	おにはそとみんなでたくさん豆まこう	②節分
344	しろくま	節分はお豆をなげておにたいじ	②節分
345	ぶち	豆まきは楽しいけれど豆きらい	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
346	たぬき	恵方巻方がく分からずあてずっぽう	②節分
347	らむネ	えほうまきみんな静かでシュールだな	②節分
348	マオ	鬼が来る豆まきをして追い出すぞ	②節分
349	みき	節分はふくはうちおにはそと	②節分
350	みき	豆たくさんひろうのにひとくろう	②節分
351	みき	おにのかおみんなでつくろうてづくりで	②節分
352	優来	豆をまきいやな鬼とのおさらばだ	②節分
353	かりん	おには外ふくは内で豆投げだ	②節分
354	つるの恩返し	恵方巻いつも途中で話しちゃう	②節分
355	つるの恩返し	どこを見て食べればいいの？恵方巻	②節分
356	つるの恩返し	豆まきの片付けするの大変だ	②節分
357	うる	鬼が来る豆を投げて鬼たいじ	②節分
358	りん	豆まきだ落ちた豆に気をつけて	②節分
359		豆まいて鬼そと福うち大切だ	②節分
360		最後までだまってたべれない恵方巻	②節分
361	黒ときぃ	豆まかずおいしくたべておになかま	②節分
362	みなみん	豆まきで我家に福をもたらして	②節分
363	まゆ	福は内今年も一年幸せだ	②節分
364	まゆ	恵方巻今年の方角どっちかな	②節分
365	松田二美	豆投げて歳の数だけ豆食べよう	②節分
366	りん	鬼がくるみんな豆もてほれなげろ	②節分
367	まっちゃ	手まきずし皆で食べる家の味	②節分
368	正宗紗弥	豆をまき朝にふむまでワンセット	②節分
369	かえちゃん	節分は伝統行事楽しいな	②節分
370	にゅ	鬼は外毎年鬼は父の役目	②節分
371	にゅ	見る方位毎年結局なんとなく	②節分
372	はま	豆まいておにを退治し福よこい	②節分
373	ましゅまろ	お父さんに日々の不満を打ちつける	②節分
374	み	豆をまきオニは外側福は内	②節分
375	にし	鬼は外豆投げまくりふくは内	②節分
376	チョコ	えほうまき方向そろえて夢かなう	②節分
377	ど。	おにがきたまめでたおすのたのしみだ	②節分
378	のん	おにはそと豆なげられるお父さん	②節分
379	ひなた	えほうまき家族そろって願い事	②節分
380	フラットスペース	鬼まねき家で一緒に豆食べよ	②節分
381	あみtea	豆を投げ恵方巻き食べて大満足	②節分
382	あみtea	豆食べる数が増えるほど歳をとる	②節分
383	あみtea	歳とれば食べる豆も増えていく	②節分
384	ここね	鬼退治仮面の父に豆投げる	②節分
385	あき	豆粒を鬼にぶつけて退治しよう	②節分
386	あき	喋らずにみんなでたべよう恵方巻	②節分
387	ゆな	節分にみんなでおににたねまこう	②節分
388	ゆな	えほうまき毎年かわる食べる向き	②節分
389	クロ	えほうまき静かにだまって食べよう	②節分
390	R.m	豆まきやいわしを食べる節分だ	②節分
391	R.m	えほうまき今年の方向どこだろう	②節分
392	いろは	鬼たいじ福は招いて鬼出禁	②節分
393	みき	豆まきで今年も鬼を退治しよう	②節分
394	七聖	いつも見る鬼とは違う豆をまけ	②節分
395	愛妻家	「妻」の字に「おに」とルビをそっとふる	②節分
396	愛妻家	「妻(おに)」「妻(おに)」「妻(おに)」怯えながら豆ひろう	②節分
397	愛妻家	まず妻に手を入れさせて様子見る	②節分
398	なめこ	豆まきは後片付けが大仕事	②節分
399	なめこ	えほう巻黙って食えと教わった	②節分
400	R	鬼は外言葉の続きに福が来る	②節分
401	パスタ	節分は節分だから節分だ	②節分
402	パスタ	節分と節分による節分だ	②節分
403	パスタ	節分が節分だから節分だ	②節分
404	プリンくん	鬼は外それでも岡山のほこりだよ	②節分
405	プリンくん	結局は五十粒ぐらい食べちゃうね	②節分
406	ゆーくん	まめなげて鬼をたをそう鬼は外	②節分
407	あー	おには外気持ちも晴れてふくは内	②節分
408	あー	面かぶる父をめがけておには外	②節分
409	とっしー	としをとる食べるのめんどいお豆さん	②節分
410		豆まきの後の片付け大変だ	②節分
411		鬼は外そんなこと言わずなかよくね	②節分
412		鬼さんは今でも怖い泣いちゃうよ	②節分
413	キングこぶら	豆まいて鬼来ず福は来るのかな	②節分
414	キングこぶら	豆まいてまき散らかして鬼(母)がくる	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
415	キングこぶら	豆まいて散らした豆に福(父)がくる	②節分
416	れい	鬼払い福を招き無病息災	②節分
417	しんの	節分で鬼を追い出せ豆合戦	②節分
418		節分の豆を全部食べちゃった	②節分
419	ふに	追いだすより仲良くなれたらうれしいね	②節分
420	ふに	恵方巻き願いをこめていただきます	②節分
421	マメ	まめまきで一生分のまめ食べる	②節分
422		豆まいてしばきまわして鬼退治	②節分
423	おはな	豆まいて鬼は外行け福は内	②節分
424		まめなげて悪を家からおい出そう	②節分
425		豆なげる節分の日に大そうじ	②節分
426	はな	おにはそとうちは内私はおうち	②節分
427		鬼は外豆を投げるると逃げるハメ	②節分
428	はる	豆投げて残った豆の争奪戦	②節分
429	はる	鬼たいじ気合いを入れて倒そうか	②節分
430	あ。	いたいいたい豆の投げ合い鬼は外	②節分
431	まーくん	豆食べるそのたび思う歳とった	②節分
432	さくら	鬼が来た急いで豆を親だったよ	②節分
433	さくら	豆巻きを朝庭見たらハトがいた	②節分
434	さくら	年の数年々むせる苦しいな	②節分
435	ちょこ	豆投げて心の鬼もやっつける	②節分
436	スライム	鬼は外！自分の母に豆投げる	②節分
437	スライム	節分に祖母の何回目の誕生日？	②節分
438	スライム	恵方巻き今年はどの方角だ？	②節分
439	平田崚陽	鬼は外豆まき鬼を退治する	②節分
440	カズキ	鬼は出し希望と夢だけ入れていけ	②節分
441	ケシゴム	豆投げて桃太郎と鬼退治	②節分
442	なお	鬼を打て数で撃体帰らせる	②節分
443	：）	節分で豆をほうばる子どもたち	②節分
444	とだ ひな	鬼は外ひなは鬼でも福は内	②節分
445	あいぱん	おりゃおりゃおりゃ鬼は出ていけぶっとばす	②節分
446	チョン	左には鬼が一匹豆なげる	②節分
447	さクラ	節分で悪い者を追い出そう	②節分
448	ペンギン	鬼たいじ鬼は逃げてもあと残り	②節分
449	ペンギン	歳の数豆を食べてもたりないな	②節分
450	イケメンイボテング	鬼が出る風邪予防しつつ豆まきも	②節分
451	イケメンイボテング	もち食って鬼風邪予防しっかりと	②節分
452	坪江香朋	豆当ての的になるのはおじいちゃん	②節分
453	ぽぽんた	毎年の豆食う数が増えてゆく	②節分
454	ゆーや	まいてから歳の数からたべる豆	②節分
455	ゆーや	自分じしん鬼は自分の胸の中	②節分
456	カユ	豆をなげおにをたいじしふくきたる	②節分
457	カユ	おにはそと家の中にはふくはうち	②節分
458	カユ	豆をまきおにをきょひしてふくいれる	②節分
459	DJポーク	えほうまきだまって食べるのわやむずい	②節分
460	ん	節分でおにはそとでふくはうち	②節分
461	ポン酢	ヤツが来る手にある豆でおい払え	②節分
462	ここ	鬼役はいつも父親影で泣いてた	②節分
463	ここ	まいた豆毎年ひろって食べる妹	②節分
464	みく	歳とれば豆食べるのもひとくろう	②節分
465	星	赤色に怖がるあの子なつかしい	②節分
466	みく	鬼は外悪いことするとやってくる	②節分
467	みく	福は内良いことするとやってくる	②節分
468	ぽめろ	幼い頃鬼が部屋来て豆をまく	②節分
469	ぽめろ	豆投げて片づけ大変困ること	②節分
470	おむらいす	鬼が来て妹守る兄現る	②節分
471	おむらいす	豆の数年の数など関係ない	②節分
472	おむらいす	鬼の役今年こそはパスしよう	②節分
473	なごむ	節分の豆ってあまりおいしくない	②節分
474	R	豆投げて厄を外へほうり出せ	②節分
475	R	豆投球ストライクして鬼アウト	②節分
476	R	豆まいて守る我が家の幸福を	②節分
477	まっつー	おにたいじダイズなげて成功だ	②節分
478	まっつー	おにたいじ福は内でおにはそと	②節分
479	まっつー	おにたいじ体の内のオにたおす	②節分
480		鬼は外福を家入れすこやかに	②節分
481	とうま	節分でおにに向かって豆なげよう	②節分
482	トマト	ガキの頃泣きに泣いたなあの姿	②節分
483	トマト	オニはソトさけびまくった連続に	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
484	トマト	豆なげてい力強すぎパパ死亡	②節分
485	ひなの	おにわそとふくわうちしておにたいじ	②節分
486	アップルパイ	鬼は外うちの父さんおいやられ	②節分
487	アップルパイ	次の日になぜかでてくる大豆たち	②節分
488	アップルパイ	わが家では本物の鬼それは母	②節分
489	さといも	豆まきで悪さをする子ばらばらに	②節分
490	※たこやき※	豆を投げ体中の鬼おい出そう	②節分
491	tynhp.2	鬼退治豆を投げてヒーローに	②節分
492	T＝I	豆まきは福がまいこむいみをこめ	②節分
493	T＝I	鬼は外豆をなげるよ福は内	②節分
494	コークスクリュー	せつぶんはとしのかずだけまめたべる	②節分
495	コークスクリュー	なまはげがわるい子いねがとおどし	②節分
496	みけねこ	節分はじゃきをはらう行事だ	②節分
497	U.S	豆使い心の鬼を追い出そう	②節分
498		節分は自分の歳だけ豆を食う	②節分
499	T.h	節分の季節はいつも鬼が出る	②節分
500	H	恵方巻だまって食べたら福がくる	②節分
501	O.Y	こわい顔かめんの裏にはにっこにこ	②節分
502	O.Y	豆食べる歳の数だけ食べれない	②節分
503	りん	毎年の鬼になる人決まってる	②節分
504	りん	ついついと年の数以上豆食べる	②節分
505	りん	鬼は外福は内で幸せだ	②節分
506	キティー	豆の数毎年一つ増えていく	②節分
507	キティー	毎日が節分気分親が鬼	②節分
508		節分は年の数だけ食べよう	②節分
509		節分はおいしく食べよう	②節分
510		節分は楽しく過ごそう	②節分
511		豆投げて福を呼ぼうよ鬼は外	②節分
512	あずき	投げる豆それ買うために飛んだ金	②節分
513	あずき	投げた豆鬼の仮面に入ってくる	②節分
514	あずき	歳重ね嫌いな豆が増えてくる	②節分
515	テルテル	家の外終わってみれば豆だらけ	②節分
516	自由人	日頃の行い親を通してリセットだ	②節分
517	うぉん	福はうちたくさん唱えて幸せだ	②節分
518	あすか	恵方巻長いとなぜか特別感	②節分
519	あんな	おには外みんなで豆まきふくは内	②節分
520	きてぃ	おにこわいはなたれた一言父悲しい	②節分
521	きてぃ	後片づけ私は知らない母の苦労	②節分
522	きてぃ	ゆううつに今年もついに節分か	②節分
523	はな	部屋のすみ何だこの粒あぁ豆だ	②節分
524	まっちゃ	豆を持ち家族みんなで鬼は外！	②節分
525	みたらし	豆の数毎年祖父の齢を越す	②節分
526	すず	年の数鬼に投げつけた豆たべる	②節分
527	にんじん	豆まいて鬼の泣く間に幸を呼ぶ	②節分
528	片山	今だけはお豆投げても怒られない	②節分
529	キラ子	年々と増える豆に年実感	②節分
530	キラ子	面つける父に豆を投げる母	②節分
531	定職についた桃タロー	鬼役の正体大体父か祖父	②節分
532	定職についた桃タロー	おにはそとの豆ってなんかくせになる	②節分
533	定職についた桃タロー	そうじきで未回収豆吸いこんだ	②節分
534	おぱんちゅ	親になり父の気持ちが分かったよ	②節分
535	まなみ	鬼は外子供からにげるお父さん	②節分
536	中村	節分はみんなで父に豆投げる	②節分
537	はるか	節分は鬼より重要えほうまき	②節分
538	ピー子	間違えず中から外に追い出そう	②節分
539	mike	こどもたち鬼に必死にまめなげる	②節分
540	誰？	えほうまきしゃべらないと思うだけ	②節分
541	みー	食べる時つい笑っちゃう恵方巻	②節分
542	にーな	歳の数豆を食べて健康に	②節分
543	ギヤー	まめまきをうんぷんばらしになげまくる	②節分
544	ペンネーム	節分で食べるおまめは最高だ	②節分
545	ちぱ	正月に食べるおもちはしあわせだ	②節分
546	三蔵	口の中アツインプラントローマ風	①真実の口
547	三蔵	せつぶんとせっぷん共に春誘う	②節分
548	三蔵	あのエンマ針山供養涙見せ	③針供養
549	保坂敦子	福は内だけの優しい節分会(え)	②節分
550	保坂敦子	トラ刈りの僕の頭は針供養	③針供養
551	保坂敦子	おとうふも針のお蔭で病なし	③針供養
552	石井和子	人間の大罪捨てよ「NOWAR」	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
553	石井和子	墓前では素直に言えるありがとう	①真実の口
554	石井和子	立春を前にきれいに神妙に	②節分
555	井上千恵子	真実よ老婆休日寝て食べて	①真実の口
556	井上千恵子	その昔クラスに二人節子さん	②節分
557	井上千恵子	痛そうな極細針の美容液	③針供養
558	貴之	真実の口誘導させる妻の技	①真実の口
559	貴之	残さずに飲べろと子鬼豆嫌い	②節分
560	貴之	針千本トーフにウソはつけません	③針供養
561	陽天	初めから縫えない私の針供養	③針供養
562	陽天	節分に包丁いらず恵方巻	②節分
563	陽天	福はうち女房だまらす恵方巻	②節分
564	まーちゃん	せつぶんだおにはまめまきやめとくれ	②節分
565	まーちゃん	ママはおにおによりこわいきをつけろ	②節分
566	まーちゃん	まめまきだおにはこわがりああにげた	②節分
567	ぽちゃこ	鬼娘本気で投げるな痛いだろ	②節分
568	ほしこ	たんじょうび2月4日は豆少ない	②節分
569	広田敬次	去年アレ今年タツ年ドラゴンズ	①真実の口
570	広田敬次	福は内鬼の居ぬ間にマメを喰う	②節分
571	広田敬次	熊が出た早く出て来い金太郎	①真実の口
572	まっちゃん	妻が言う貴方もやってみたらどう？	①真実の口
573	まっちゃん	鬼の面ダブリで見える妻の顔	②節分
574	まっちゃん	古時計針もそろそろ起床かな	③針供養
575	山之内富士代	政治家に針千本を飲ませたい	①真実の口
576	山之内富士代	激震の能登の里山春よこい	②節分
577	山之内富士代	針と糸困った時の縁の下	③針供養
578	メガネの山田	「タベレナイ」ルンバが残した豆の数	②節分
579	メガネの山田	おかえりと玄関で待つ鬼の面	②節分
580	メガネの山田	物価高入れる具悩む恵方巻き	②節分
581	ra.mi	針供養豆腐に刺して錆びました	③針供養
582	ra.mi	朝ドラの福来スズ子福来たる	②節分
583	ra.mi	嘘の口あったら誰も入れないね	①真実の口
584	今一歩	浅草で真実の口閉じられず	①真実の口
585	今一歩	豆まきで鬼を逃がす観世音	②節分
586	今一歩	針供養トウフの身にもなってくれ	③針供養
587	露伴の三福	鬼が去り災い転じて福来たる	②節分
588	露伴の三福	供養するお針子達の宝物	③針供養
589	露伴の三福	真実の口に入れたい愚痴の束	①真実の口
590	真実一路	おかみさん真実の口には縁はなし	①真実の口
591	真実一路	節分と接吻まちがえセクハラだ	②節分
592	真実一路	針供養地獄の針山一休み	③針供養
593	一日一笑	幸せは嘘と誠の交差点	①真実の口
594	一日一笑	鬼は外鳩はよろこぶ福は内	②節分
595	一日一笑	針山を供養するのは鬼たちか	③針供養
596	小池友楽	声はなし豆食うばかり福来たる	②節分
597	小池友楽	先手打ち嘘をつくから手を入れる	①真実の口
598	小池友楽	針供養刺された豆腐痛かろう	③針供養
599	後藤　克好	真実の口が政治屋にはガブリ	①真実の口
600	後藤　克好	節分のお面鬼から熊もある	②節分
601	後藤　克好	要供養何億本か注射針	③針供養
602	ギザギザ仮面	オードリー屁っぷバーンな真実の口	①真実の口
603	ギザギザ仮面	節分の豆まで今は見かけない	②節分
604	ギザギザ仮面	針供養なんか背筋が凍るかな	③針供養
605	あかごう	手を入れて正直もののお犬様	①真実の口
606	あかごう	豆まきで見える新たな顔見つけ	②節分
607	たまのいわし	真実の口に餌やりしたがる子	①真実の口
608	たまのいわし	節分の鰯でお兄が逃げていく	②節分
609	たまのいわし	魔王よりときにスライム針供養	③針供養
610		「鬼は～外！！」本気で投げる鬼嫁に	②節分
611		教えてよ真実の口よ鬼嫁の姿	①真実の口
612		ありがとう針のお陰でお手製バッグ	③針供養
613	一流亭三流	アン王女新聞記者に騙されて	①真実の口
614	一流亭三流	豆を撒き心の中の鬼退治	②節分
615	一流亭三流	針を持つ機会も無くて歳を取る	③針供養
616	雅一輪	錆びた針お疲れさんと豆腐刺し	③針供養
617	雅一輪	豆まきは片付くまでが儀式なり	②節分
618	早希子	携帯に豆まきをするご時世だ	②節分
619	早希子	鬼は外外に居るから困りもの	②節分
620	早希子	政治家は真実の口手を入れず	②節分
621	吉富　孝則	針供養豆腐に刺しつつありがとう	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
622	吉富　孝則	口に手を入れたら彼女が真似すんな	①真実の口
623	吉富　孝則	人戻る節分の日の浅草寺	②節分
624	zero	カミさんと真実の口はほぼ同じ	①真実の口
625	zero	節分でいつも鬼役豆痛い	②節分
626	zero	針供養針の役割思い出す	③針供養
627	風来坊（ふうらいぼう）	腕何本あっても足りぬ嘘の数	①真実の口
628	風来坊（ふうらいぼう）	我が家には鬼も来なけりゃ福も来ぬ	②節分
629	風来坊（ふうらいぼう）	お豆腐が可哀想だと孫が言い	③針供養
630	ぱせり	真実の口にしっかりガムテープ	①真実の口
631	ぱせり	孫はしゃぐアンパンマンのお面つけ	②節分
632	ぱせり	母の道針一筋の七十年	③針供養
633	海老原順子	鬼は外死語かもしれぬ新時代	②節分
634	海老原順子	節約に豆は撒かないエコ暮らし	②節分
635	海老原順子	長生きも嬉しくはない豆の数	②節分
636	古子	真実の口さえ見抜けぬアイツの手	①真実の口
637	古子	節分の豆をまきたい国が増え	②節分
638	古子	針供養されそうになりジム通い	③針供養
639	シャッチョ～安	安っす～い！まけた値段はいつもの値	①真実の口
640	なき	たわむロミニカー走る誕生日	①真実の口
641	なき	大掃除節分の名残顔を出す	②節分
642	なき	均等に針を刺し込む元美術部	③針供養
643	まろん	チクチクと妻が持つ針針供養	③針供養
644	まろん	妻が敷くむしろ痛いな針供養	③針供養
645	堀　卓	真実の口を国連入り口に	①真実の口
646	堀　卓	孫のため今年も老いの鬼の面	②節分
647	堀　卓	政治家に飲ます千本針供養	③針供養
648	河上輝久	運針の真直ぐ縫えぬ針納	③針供養
649	樺山 鴻春 (かばやま こうしゅん)	神嘆くフェイクニュースの鬼は外	②節分
650	野島　清孝	口だけの政治家達が譲り合い	①真実の口
651	野島　清孝	豆撒き後親は掃除の鬼と化す	②節分
652	野島　清孝	ありがとう手編みで笑顔貰えたよ	③針供養
653	祐宇	真実は真実の口だけが知る	①真実の口
654	祐宇	真実の口騙す覚悟で生きる	①真実の口
655	祐宇	真実の口を塞いだ大人たち	①真実の口
656	山田直樹	しあわせのはいった豆まき日本晴れ	②節分
657	あならは	マメらしいここの地域は鬼門がない	②節分
658	あならは	肌寒い季節に鬼も厚着して？	②節分
659	あならは	泣くよりも凪いでみせよう鬼に向け	②節分
660	みい	鬼の役子どもの為に引き受ける	②節分
661	みい	定番な映画の真似をやってみる	①真実の口
662	みい	大切な針に感謝忘れない	③針供養
663	ねぶたまま	豆まいて今の幸せこれからも	②節分
664	ねぶたまま	真実を告げず良かった事多し	①真実の口
665	ねぶたまま	孫がまく豆を笑顔でうけるじじ	②節分
666	おひさま	鬼は外豆をまく子に福来たれ	②節分
667	おひさま	節分や寒さまだまだ春遠く	②節分
668	おひさま	年の数豆食べすぎて不機嫌に	②節分
669	奥　摩耶子	鬼役は妻の方が適任だ	②節分
670	奥　摩耶子	鬼は外疲れて帰り豆まかれ	②節分
671	奥　摩耶子	撒く豆の数が年々減っていき	②節分
672	でえくのぼお	ひいらぎも不思議がられておまじない？	②節分
673	でえくのぼお	パパが鬼パパにとってはママが鬼	②節分
674	でえくのぼお	歳重ね食べる豆数辛くなり	②節分
675	日向大海	政治屋の真実のクチ探す俺	①真実の口
676	日向大海	節分に歳バレぬ様豆砕く	②節分
677	日向大海	針供養俺の身体に鍼の山	③針供養
678	蔵六	真実の口よりデカい君の嘘	①真実の口
679	蔵六	鬼が去り大豆を拾う昭和の夜	②節分
680	蔵六	靴さえも針で直した母が逝く	③針供養
681	しん	我思う我が手を噛んで見上げけり	①真実の口
682	しん	子は二人三十分の鬼ヶ島	②節分
683	しん	針刺しを踏みし我が足剣山化	③針供養
684	哲将軍	本音言う喧嘩勃発面倒くさい	①真実の口
685	哲将軍	鬼は外コロナにかかり俺も外	②節分
686		高齢で年の数ほど豆食えぬ	②節分
687		相棒の針に感謝針供養	③針供養
688	山田友子	針供養行きたいけれど針がない	③針供養
689	山田友子	針供養刺された豆腐痛かろう	③針供養
690	山田友子	針供養疲れた心共に刺し	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
691	山田久利	豆まきで拾った子らも今は鬼	②節分
692	山田久利	豆まきも袋のままで飛んでゆき	②節分
693	山田久利	豆まけど逃げない鬼が家に居る	②節分
694	山田和幸	怪しいな真実の口手を入れず	①真実の口
695	山田和幸	まずいかも真実の口だましたい	①真実の口
696	山田和幸	頼みます真実の口見逃して	①真実の口
697		真実の口覆うヒゲかき分けて	①真実の口
698		節分の豆まき二粒即回収	②節分
699		針供養最後のミシン掛けはいつ	③針供養
700	でこぽん	節分の豆の多さや腹下し	②節分
701	でこぽん	真実の口には秋刀魚干からびて	①真実の口
702	でこぽん	鬼来らば共に酒飲も鬼殺し	②節分
703	陽だまり猫	豆をまく息子のフォーム大谷か	②節分
704	陽だまり猫	鬼嫁に心を込めて豆を投げ	②節分
705	陽だまり猫	今年から豆を撒くなら口に撒く	②節分
706	大阪ゆうちゃん	国会に飾れば少しウソが減る	①真実の口
707	大阪ゆうちゃん	真実の口にマスクをしたは誰	①真実の口
708	大阪ゆうちゃん	ギプスした人が立ち会う恐ろしさ	①真実の口
709	小田中準一	ほろ酔いの赤鬼の背に豆礫	②節分
710	小田中準一	針供養昔縫い針今は鍼	③針供養
711	小田中準一	一粒を十歳として食べる豆	②節分
712	柳瀬　輝	嘘つかず還暦まではムリゲーか	①真実の口
713	柳瀬　輝	ワンケーの恵方はトイレ外で食う	②節分
714	柳瀬　輝	いらぬ手は右か左か選ぶ口	①真実の口
715	りりぃ	豆投げる妻の顔こそ鬼のよう	②節分
716	りりぃ	旦那鬼ここぞとばかり豆投げる	②節分
717	大野美波	最近は男子も多い針供養	③針供養
718	大野美波	豆まきで泣く子笑う子逃げてる子	②節分
719	安田蝸牛	豆撒きの妻には要らぬ鬼の面	②節分
720	安田蝸牛	妻の背に小さい声で豆を撒く	②節分
721	安田蝸牛	針供養何のことかと訊く時世	③針供養
722	まるねこ	節分の豆食べる数さばを読み	②節分
723	まるねこ	真実の口より親に嘘噛まれ	①真実の口
724	まるねこ	針供養骨折り損はこういかぬ	③針供養
725	さとうさき	節分の鬼に任せる豆掃除	②節分
726	うしっぽ	口に手を入れたら抜けぬ悪代官	①真実の口
727	うしっぽ	年の数食べたら持たぬ歯とお腹	②節分
728	うしっぽ	恵方巻俺にもよこせと鬼の声	②節分
729	チョウピン	開いた口嘘ばっかりで塞がらず	①真実の口
730	チョウピン	鬼も来て一杯やらんか夫婦酒	②節分
731	チョウピン	針供養終えて湯豆腐梅の花	③針供養
732	春爺	真実の口に判定してもらう	①真実の口
733	春爺	偽りが少しあるから人らしい	①真実の口
734	春爺	縫い物の腕が上がらぬ針供養	③針供養
735	しゃらく	鬼は外福も欲しいが金は内	②節分
736	しゃらく	鬼は外豆投げるこそ鬼じゃない？	②節分
737	柳三	真実の口塞ぎたし永田町	①真実の口
738	柳三	節分の後まで待とうマネーロンダリング	②節分
739	柳三	死語となるもちくりと痛し針供養	③針供養
740	スージー牛	ほんとなら議員先生手首なし	①真実の口
741	スージー牛	判決で裁判長が口すれば	①真実の口
742	スージー牛	取り調べあったら怖いそんな口	①真実の口
743	成田　泰子	減税と増税混在はっきりせい	①真実の口
744	成田　泰子	永田町豆が足りない鬼退治	②節分
745	ゆん	供養する折れた針数努力の数	③針供養
746	ゆん	偽物のヘップバーンが列を成す	①真実の口
747	ゆん	休日に映画を真似る老夫婦	①真実の口
748	マンボウちゃん	嘘のない口はけっして尖らない	①真実の口
749	マンボウちゃん	鬼役の亭主に礫容赦なし	②節分
750	マンボウちゃん	物価高針の筵で供養され	③針供養
751	ロック丸川柳人	妻ぼやく家のインディアン嘘ばかり	①真実の口
752	ロック丸川柳人	どの口が言ってるんかな本音言えと	①真実の口
753	showhanng	鯛頭の眼玉刺すなり針供養	③針供養
754	寒椿	「鬼は外」父の大声懐かしく	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
755	寒椿	錆びてなおはたらく針に労いを	③針供養
756	寒椿	誰が手を入れられるのかその口に	①真実の口
757	永禮信義	私のソレは秩序の破壊恐ろしあ	①真実の口
758	永禮信義	近さんは先人の知恵リスキリング	①真実の口
759	永禮信義	今どきのテレビ不衛生見たくない	①真実の口
760	アカエタカ	針供養豆腐が顔をしかめる日	③針供養
761	アカエタカ	真実の口に時々混じる嘘	①真実の口
762	アカエタカ	鬼は外野鳥が鬼を食べている	②節分
763	尊の君	お疲れと労る君の針仕事	③針供養
764	尊の君	見極めて切れと騙すが電話口	①真実の口
765	尊の君	豆の値が高く並んで鬼と泣く	②節分
766	芦川美栄子	永遠のローマの休日ごっこかな	①真実の口
767	芦川美栄子	今時は鬼のお面もレインボー	②節分
768	芦川美栄子	針の次豆腐供養を始めます	③針供養
769	泰平楽	口に手を入れる寸前平返し	①真実の口
770	泰平楽	自信ある叫び口に手あっ痛たっ	①真実の口
771	泰平楽	ヌートヴァー仕草し堪忍鬼役子	②節分
772	しんのすけ	まちがえたふりし女房に豆ぶつけ	②節分
773	しんのすけ	豆まきの豆が出てきた大掃除	②節分
774	しんのすけ	豆まかず一緒に食べる多様性	②節分
775	永禮元子	棒引きは公的債務に細過ぎる	①真実の口
776	永禮元子	戦争に勝ってどうするオソロシア	①真実の口
777	永禮元子	日本の軸足と金利どこに有る	①真実の口
778	イワンモ	節分に合わせお爛をつける父	②節分
779	イワンモ	節分に遅れた鬼が息切らし	②節分
780	イワンモ	鬼が出て子は逃げ犬は首かしげ	②節分
781	中原政人	真実の口なら決まりヘプバーン	①真実の口
782	中原政人	鬼は外豆の飛び来る朝帰り	②節分
783	中原政人	仏壇の千人針の針供養	③針供養
784	勝井良共	内に棲む心の鬼に豆まけず	②節分
785	勝井良共	真実かマスクが邪魔で口見えず	①真実の口
786	ブレンデイー	辛口の妻のお口を針供養	③針供養
787	ブレンデイー	鬼は外家に居たのと我が子聞き	②節分
788	ブレンデイー	節分のパパは鬼役面被り	③針供養
789	羽馬愚朗	手首ない男が闊歩永田町	①真実の口
790	羽馬愚朗	豆まきに子どもの声が響かない	②節分
791	羽馬愚朗	針供養男も参加する時代	③針供養
792	ウラッキー	生きる意味教えてくれる針供養	③針供養
793	ウラッキー	針供養重みが違うこの言葉	③針供養
794	ウラッキー	これからもこの先もまだ針供養	③針供養
795	あおちゃん	「帰さない」昨日は不倫今日くちに	①真実の口
796	あおちゃん	降ってくる豆と平和の節分会	②節分
797	あおちゃん	美肌にも針のベッドにもなる豆腐	③針供養
798	ナンサン	真実を上手に隠し共白髪	①真実の口
799	ナンサン	福豆は身近にあると知る家族	②節分
800	ナンサン	退院で供養をしたい注射針	③針供養
801	中静憲夫	うなぎ屋にアレ付け足せと賀状書く	①真実の口
802	中静憲夫	鬼嫁が天使のブラで豆をまく	②節分
803	中静憲夫	使わない針だが2本供養する	③針供養
804	ハイ爺	改革で鬼も定時にいなくなり	②節分
805	ハイ爺	物価高豆腐小さくハリセンボン	③針供養
806	ハイ爺	手が抜けたよくよく見たら入歯ごと	①真実の口
807	ラベンダー	真実の口は滅多に開(ひら)かない	①真実の口
808	ラベンダー	真実の口をあなたの前でなら	①真実の口
809	ラベンダー	「鬼は外！」今更気付く「鬼は人」	②節分
810	COCO	パッチワーク増す作品と折れた針	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
811	翔のんまな	真実は一つ怒号の中に澄む	①真実の口
812	翔のんまな	実情を知らぬ者だけよくしゃべり	①真実の口
813	翔のんまな	もの言わず目を閉じ黙りうなずいて	①真実の口
814	レディ虎魚	あちこちの真実の口手が足らず	①真実の口
815	レディ虎魚	初デイト年の数ばれ鬼恨み	②節分
816	レディ虎魚	針供養何者なりや令和っ子	③針供養
817	てぬき親父	鎧ぬぎ本音で語り出る事実	①真実の口
818	てぬき親父	針供養上達と感謝の二重奏	③針供養
819	てぬき親父	隠せない必ずばれる漏れてくる	①真実の口
820	なし	一針に込めてイニシャル実を結び	③針供養
821	なし	かすむ眼で夜鍋重ねた母の針	③針供養
822	なし	針山に滲む錆び跡昭和見る	③針供養
823	村松　義弘	減税のメガネをかけて手を入れて	①真実の口
824	村松　義弘	豆やめて歳の数だけ杯重ね	②節分
825	村松　義弘	針供養定年近い俺見るな	③針供養
826	長谷川完治	オーケアノスロの中見りゃ手手手手手	①真実の口
827	長谷川完治	鬼は外妻の背中にそっと当て	②節分
828	長谷川完治	淡嶋様豆腐の供養はどうなっとう？	③針供養
829	山影敏康	鬼はどこ？戦争起こす人の中	②節分
830	山影敏康	恵方巻方位間違え鬼は内	②節分
831	山影敏康	福は内そう願いたい雪明かり	②節分
832	アイワイ	偽動画AI（エーアイ）の手は入れられぬ	①真実の口
833	アイワイ	恵方巻黙食中に鳴る電話	②節分
834	アイワイ	お母さん五十肌にもハリ供養	③針供養
835	角	追う鬼のあまりの多さに豆足らず	②節分
836	角	多様化と共生実現鬼も内	②節分
837	角	格差鬼追い出す豆はどこにある	②節分
838	桃李	真実の口を知らないもみじの手	①真実の口
839	米太郎	こらえてる思わず笑みが相手泣き	①真実の口
840	米太郎	芽が出ない焼いた豆ダメ生豆まく	②節分
841	米太郎	空いた穴ワンポイントと気にもせず	③針供養
842	野崎文明	お面の子鬼と福とのせめぎあい	②節分
843	関祐香	針供養するほど毎年縫えてない	③針供養
844	関祐香	針供養人間だったらYogiboか？	③針供養
845	関祐香	豆まきの鬼の形相鬼どっち？	②節分
846	三太夫	議事堂に真実の口検問所を	①真実の口
847	三太夫	クマが来る豆は外には投げられぬ	②節分
848	三太夫	豆まけどお邪魔しましたと福が外	②節分
849	イワンモ	じいちゃんのレコード針も針供養	③針供養
850	イワンモ	感謝込め手縫いのマスク針供養	③針供養
851	イワンモ	木綿より絹ごし選ぶ針供養	③針供養
852	山口康介	真実の口のホントはだれ基準？	①真実の口
853	山口康介	職場とは逆方向がマイ恵方	②節分
854	山口康介	嫌いな具入った恵方巻きが鬼	②節分
855	破れ蓮	真実の口には誰も躊躇する	①真実の口
856	破れ蓮	妻という鬼も自ら豆を撒く	②節分
857	破れ蓮	福豆を米寿の母が持て余す	②節分
858	コスモス	手が抜けぬ手抜きの仕事バレたかな	①真実の口
859	さすらいのセールスマン	,川柳はじまりないがおわりなし	①真実の口
860	茶唄鼓/ちゃかどん	針供養刺される豆腐泣いている	③針供養
861	茶唄鼓/ちゃかどん	センターを針と豆腐が奪い合う	③針供養
862	茶唄鼓/ちゃかどん	お豆腐に折れた心をそっと刺す	③針供養
863	昔の乙女	真実の口を移転だ議事堂に	①真実の口
864	昔の乙女	真実の口は議員の手が好きだ	①真実の口
865	昔の乙女	真実の口もお手上げその答弁	①真実の口
866	島根のぽん太	いくつ手があっても足りぬ反抗期	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
867	島根のぽん太	恵方巻食べてる時だけ妻黙る	②節分
868	島根のぽん太	お豆腐も木綿にこだわる針供養	③針供養
869	まろりん	掌に握った小銭は離さない	①真実の口
870	まろりん	父は蕎麦母は巻き寿司俺パスタ	②節分
871	まろりん	お豆腐の代わりに代用パンケーキ	③針供養
872	照山紅葉	よそはよそうちはうちだよ別バージョン	②節分
873	井上貴史	年の数福豆食べてお茶を飲む	②節分
874	木立慈雨	収賄で投票箱に手を噛まれ	①真実の口
875	木立慈雨	豆撒けばニートの息子後を追う	②節分
876	木立慈雨	豆腐には拷問だった針供養	③針供養
877	祥雪（しょうせつ）	鬼役も豆拾う朝春立ちぬ	②節分
878	しげ3	政治家に試してみたい真実の口	①真実の口
879	しげ3	鬼は外離れし子の手思い出す	②節分
880	しげ3	針供養家族の思い出針紡ぐ	③針供養
881	ターボ	徳之島ハブ供養よりクマ忘れ	③針供養
882	たかし	針供養、とげを取りつつ、成長し	③針供養
883	さささん	政治家の視察旅行はローマ避け	①真実の口
884	さささん	ブルータス真実の口に近づかず	①真実の口
885	さささん	この口にネットをまるごと通したい	①真実の口
886	風の旅人	ホントだよパパがこっそり飲むお酒	①真実の口
887	風の旅人	ママは外お面被らぬ厚化粧	②節分
888	風の旅人	針供養刺して繕う破れ足袋	③針供養
889	烏蘭	暴君の手を食いちぎりかみ殺す	①真実の口
890	烏蘭	鬼となりマメに働く気にさせる	②節分
891	烏蘭	針仕事覚えたころに巡り合い	③針供養
892	南のサッチー	増えている鬼より恐い闇バイト	②節分
893	南のサッチー	パパよりもママが適任鬼の役	②節分
894	南のサッチー	ママよりもパパの専売針仕事	③針供養
895	高橋 済	鬼招き我が家の福をおすそ分け	②節分
896	高橋 済	政治家も俺も口には手を入れぬ	①真実の口
897	高橋 済	神仏とウソつきだけが知る真相	①真実の口
898	水沢　巡美	インディアン嘘を付かないそれは嘘	①真実の口
899	水沢　巡美	年の数食べていたのははたちまで	②節分
900	水沢　巡美	人を差すハチのムサシも針供養	③針供養
901	三村　睦	針だけと奥で先祖の首長く	③針供養
902	三村　睦	ナゼマメヲ外国人にも意味を説く	②節分
903	具蔵	真実の口を置きたい永田町	①真実の口
904	具蔵	鬼よりも有名人が成る話題	②節分
905	具蔵	裁縫をしない愚妻の針供養	③針供養
906	三村　睦	あれは豆インバウンドに意味を説き	②節分
907	そんちく	新婚の口に手を入れ愛誓う	①真実の口
908	そんちく	古稀過ぎて年の数だけ食えぬ豆	②節分
909	そんちく	針供養使わぬ針に詫び入れる	③針供養
910	千吉良　岳	真実を語れぬ政治家の呪縛	①真実の口
911	なるほどマン	同じこと相手によって変わるクチ	①真実の口
912	なるほどマン	猫ちゃんへソッと聞かせる愚痴ひとつ	①真実の口
913	なるほどマン	福はうちオニより怖い「ヒトは外」	②節分
914	谷脇　香織	翌日は撒いた分だけ大掃除	②節分
915	谷脇　香織	ありがとうキミのお陰で子のスタイ	③針供養
916	谷脇　香織	祖母とした供養は今でも思い出す	③針供養
917	ごん太	真実の口に思案のヘップバーン	①真実の口
918	ごん太	ぞっこんの推しに向かって恵方巻	②節分
919	ごん太	真実の口にマスクの永田町	①真実の口
920	九（いちじく）	『豆まきにちゃっかり参加ハトぽっぽ』	②節分
921	九（いちじく）	『食べるのが難儀になったお年頃』	②節分
922	九（いちじく）	『食か飾かイワシの頭ＳＤＧＳ』	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
923	そめい	俺は外帰りは怖いぞ妻は家	②節分
924	ゆきぼたる	針供養教える前に針探す	③針供養
925	ゆきぼたる	手を合わせ真実の口通り過ぎ	①真実の口
926	ゆきぼたる	沸騰化節分の日変わるかも	②節分
927	うにどん	お豆腐も我慢の一日針供養	③針供養
928	うにどん	子の声が減った団地の「鬼は外」	②節分
929	うにどん	豆まきの翌朝鳥たち大喜び	②節分
930	かた　こりこ	日本の思いやる心針供養	①真実の口
931	かた　こりこ	豆をまきマメに生きたい節分の日	
932	かた　こりこ	隠せない出過ぎた杭は打たれてる	①真実の口
933	西田忠俊	真実の口欲しいロシアと永田町	①真実の口
934	西田忠俊	老い二人鬼追い出しに豆を食い	②節分
935	西田忠俊	憎らしき人にも見立て針供養	③針供養
936	藤沢・マグネット	邪気払い豊作祈願で豆をまく	②節分
937	藤沢・マグネット	何故パパが鬼になるのか分からない	
938	藤沢・マグネット	豆まきで何故か張り切るママがいる	
939	嘉村 吉之助	いつの世も抜けなくなった人はなし	①真実の口
940	嘉村 吉之助	福は内言ってみたとて来たこと無し	②節分
941	嘉村 吉之助	酷使され自分が休む豆腐はなし	③針供養
942	森下　渓山	議事堂に真実の口有りたれば	①真実の口
943	むぎ	本当の鬼は心の奥に居る	②節分
944	むぎ	鬼は外優しい心撒いて春	②節分
945	むぎ	オニは外鬼に当たらぬように撒く	②節分
946	琳旬	豆をまき白鳩来たりて福が成る	②節分
947	琳旬	終活と年賀状締め針供養	③針供養
948	琳旬	真実の口にかざそう詐欺メール	①真実の口
949	松庵	針供養衣(い)の一番に感謝する	③針供養
950	松庵	浅草で老婆の休日母笑う	①真実の口
951	松庵	針供養感謝で「服」が「福」となる	③針供養
952	たっくん	節分の主役豆から巻き寿司に	②節分
953	たっくん	年の数豆を食べたら満腹に	②節分
954	たっくん	家庭でも豆まき今や思い出に	②節分
955	そめい	今もなお昭和の匂い針供養	③針供養
956	糸車	仁王様たまに叱ってこの日本	①真実の口
957	糸車	値上げ外家計守って鬼は内	②節分
958	糸車	孫浴衣縫い上げました針供養	③針供養
959	だいすけ。	真実の口はいかが？と永田町	①真実の口
960	だいすけ。	豆をまく息子のフォーム大谷サン	②節分
961	だいすけ。	針供養聞いても若者張りなき声	③針供養
962	三郎	要領のいい鬼上手く逃げおおせ	②節分
963	三郎	閣僚が針のむしろの針供養	③針供養
964	三郎	真実か閻魔ホテルへ口を見に	①真実の口
965	里岡すずめ	糸に別れを告げて豆腐に眠る針	③針供養
966	里岡すずめ	1つ足しサバ読みバレる年取り豆	②節分
967	星新	節分は鬼が台頭駆除に豆	②節分
968	星新	政治家さん真実の口持ってくれ	①真実の口
969	星新	仕事人悪人退治針供養	③針供養
970	ぴえっちょ	母の口伸びる愛しいもみじの手	①真実の口
971	ぴえっちょ	園グッズ愛を形に針供養	③針供養
972	とらちゃん	湯豆腐のツボこの辺り針供養	③針供養
973	カワサン	節分に適役鬼が鬼をせず	②節分
974	カワサン	福は内外は寒かろ鬼も内	②節分
975	カワサン	恵方巻廃棄ゼロなら福は来る	②節分
976	釦	『鬼は外！』ママに豆投げ角が出て	②節分
977	釦	真実の口に語らせたい日本	①真実の口
978	釦	遠き地の真実（まこと）の平和祈る口	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
979	あーや	パパが鬼だけどパパより恐いママ	②節分
980	あーや	節分の豆を愛犬狙い撃ち	②節分
981	あーや	歳の数豆食べるのが面倒に	②節分
982	黒飛義竹	豆止めてロシアに投げる正露丸	②節分
983	黒飛義竹	政治家の手が震えてる口の前	①真実の口
984	黒飛義竹	昆虫を刺したまち針刺す子供	③針供養
985	稲岡俊一	鬼嫁にうっかり豆を投げつける	②節分
986	稲岡俊一	恵方巻握ったままのおちょぼ口	②節分
987	稲岡俊一	「痛いから嫌」と鬼の面を取る	②節分
988	一号	AIが導入されて余は楽じゃ	①真実の口
989	一号	寒いのに全身タイツパンツのみ	②節分
990	一号	恵方巻喉に使えて赤鬼に	③針供養
991	かる吉	年賀状不要と言われホッとする	①真実の口
992	かる吉	慰労会上司病欠ついニヤリ	①真実の口
993	かる吉	節分の鬼は夫の帰宅待ち	②節分
994	さんごしょう	みな思うアノ人たちが手を入れて	①真実の口
995	さんごしょう	邪気払いお札求めて節分会	②節分
996	さんごしょう	お世話さん針を納めてありがとう	③針供養
997	マコッチャン	誰一人手を引き出せぬ永田町	①真実の口
998	マコッチャン	恵方巻全方位向く念のため	②節分
999	マコッチャン	子の成長一本ずつが語り出す	③針供養
1000	わかぼん	ねぇあなた私綺麗と聞かれ乙	①真実の口
1001	わかぼん	ママ鬼が1年中家にいる	②節分
1002	わかぼん	針を見て母の姿を思い出す	③針供養
1003		針供養磁石に貼付けて持ち運び	③針供養
1004		節分の豆が少なく鬼多し	②節分
1005		公約に検証適切立候補	①真実の口
1006	ちゃま	真実の口に手を入れ走馬灯	①真実の口
1007	ちゃま	真実の口にいざ問う後朝の	①真実の口
1008	ちゃま	ローマより真実の口ビューホテル	①真実の口
1009	三河の空	豆まいて子らの歓声春を呼ぶ	②節分
1010	三河の空	捨てられぬ息子育てた折れた針	③針供養
1011	三河の空	豆まきの豆をぶつけて逃げる妻	②節分
1012	宮下正司	ありがとう豆腐に針の花が咲く	③針供養
1013	宮下正司	神社行き心清めて手を入れる	①真実の口
1014	宮下正司	コロナ明けだけど黙食恵方巻き	②節分
1015	鈴木隆司	鬼は～ヨメ！豆ぶつけたらワタシ～外	②節分
1016	鈴木隆司	子の言葉時に残酷真実の口	①真実の口
1017	鈴木隆司	低所得頭の中で豆を撒く	②節分
1018	PON5	永田町採用されたら議員消え	①真実の口
1019	PON5	豆まきが出来る幸せかみしめる	②節分
1020	PON5	さそり座の女が似合う針供養	③針供養
1021	馬場和義	浮気中真実の口でプロポーズ	①真実の口
1022	馬場和義	鬼さんとサンタさんとパパよく似てる	②節分
1023	馬場和義	針仕事で生活支えた母、供養	③針供養
1024	馬場鈴代	ペック真似手、隠し妻に殴られた	①真実の口
1025	馬場鈴代	恵方巻き食べずに投げるおじいちゃん	②節分
1026	馬場鈴代	嘘ついて針千本を供養する	③針供養
1027	今　ゆうよ	すぐ炎上厳しい地域社会感	①真実の口
1028	今　ゆうよ	針供養感謝の心再チャージ	③針供養
1029	今　ゆうよ	歳の数マメに生きたい豆の数	②節分
1030	とし	節分はなんと言っても豆まきや	②節分
1031	とし	お裁縫うまくなりたいおとこでも	③針供養
1032	とし	悪いことしないと神に誓う俺	①真実の口
1033	未央柳	ニッポンの鬼輸入豆で追い払う	②節分
1034	未央柳	針供養母の内職思い出す	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1035	未央柳	開けてない針箱の針供養する	③針供養
1036	飛鳥	手を入れて己の心試される	①真実の口
1037	飛鳥	豆まきを本気でやり合う古希の父母	②節分
1038	飛鳥	恵方巻気づけば方角忘れてる	②節分
1039	琥珀	ビューホテル真実の口に手をそっと	①真実の口
1040	琥珀	大理石レプリカと言え口の顔	①真実の口
1041	琥珀	レリーフの真実の口イタリア製	①真実の口
1042	南北	真実はメガネの奥の目で語る	①真実の口
1043	南北	敗戦の千人針を供養する	③針供養
1044	南北	難儀だな齢の数だけ拾う豆	②節分
1045	ありません。	オードリー真実の口ペックさん	①真実の口
1046	ありません。	針供養和裁の技術腕を上げ	③針供養
1047	ありません。	節分は国産豆をバラ撒こう	②節分
1048	ありません。	節分日追われる鬼が可哀想	②節分
1049	ありません。	この世では真実の口持ち辛い	①真実の口
1050	ありません。	現代の女子には死語の針供養	③針供養
1051	月下の門	ビューホテル派閥パーティー敬遠し	①真実の口
1052	月下の門	鬼は外虐待だよと鬼抗議	②節分
1053	月下の門	鍼灸院痛みに耐えて針供養	③針供養
1054	斎藤令子	鬼は外福は内ならぬ口に入れ	②節分
1055	ドープメン	議事堂に真実の口置いてくれ	①真実の口
1056	ドープメン	節分があてはまらない奇行かな	②節分
1057	ドープメン	お疲れと突かれた針は力尽き	③針供養
1058	佐藤あまみ	手を入れて閉じたら怖い嘘がある	①真実の口
1059	佐藤あまみ	幼稚園子の描く鬼はママに角	②節分
1060	佐藤あまみ	ゴシップ紙真実の口試したい	①真実の口
1061	たぬき親父	幸せの食べきれぬ程の豆の数	③針供養
1062	たぬき親父	針供養感謝の心が駆動源	③針供養
1063	たぬき親父	居酒屋で愚痴ったことは数知れず	①真実の口
1064	けんちゃん	物価高口へと豆を投げ入れる	②節分
1065	けんちゃん	取ってくれ胸に刺さった妻のトゲ	③針供養
1066	けんちゃん	「妻が好き」本当なのに手が震え	①真実の口
1067	西荻髭爺	AIで嘘を判定噛みつかせ	①真実の口
1068	西荻髭爺	鬼は皆履いてや！お～んアレの柄	②節分
1069	西荻髭爺	太鼓持ち腹に残りし針供養	③針供養
1070	田舎の爺さん	妻からの心の針がチョイ疼く	③針供養
1071	田舎の爺さん	爺婆が鬼の面買い孫を待つ	②節分
1072	田舎の爺さん	孫が来て爺が鬼役幕が開く	②節分
1073	無	真実をキックバックで口ふさぐ	①真実の口
1074	無	真実を隠す口から見える嘘	①真実の口
1075	無	真実を二枚の舌で使い分け	①真実の口
1076	坂本　義教	鍼治療終えて赴く針供養	③針供養
1077	坂本　義教	総入れ歯齧る入り豆一苦労	②節分
1078	小林健二	政治家の真実の口見当たらず	①真実の口
1079	小林健二	鬼と福節分を終え暇になり	②節分
1080	小林健二	豆まきで父鬼役で痛うれし	②節分
1081	市川雅弘	事納め疲れたツボに針供養	③針供養
1082	市川雅弘	投げるより時間のかかる豆拾い	②節分
1083	べべの介	母の背の向こうにありき針供養	③針供養
1084	ショクドー	アナログの昭和のなごり消えていく	①真実の口
1085	ショクドー	AIに昭和のこころ残したい	①真実の口
1086	ショクドー	元号も令和の次はAIに	①真実の口
1087	さっちゃん	知らんけどおかん口癖ギリセーフ	①真実の口
1088	さっちゃん	恵方巻き年一うちは静かやな	②節分
1089	一号	手は抜けず髪だけ抜けるこれ事実	①真実の口
1090	一号	鍼灸師コンニャクのツボ刺すのかなぁ	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1091	一号	コンニャクをプリンにかえて刺したいな	③針供養
1092	一号	手は抜けず髪だけ抜けたこれほんと	①真実の口
1093	一号	鍼灸師コンニャクのツボわかるかな	③針供養
1094	一号	歳の数イワシだったら腹こわす	②節分
1095	一号	針ネズミコンニャクの横置いてみた	③針供養
1096	一号	100円を口に入れたら手が抜けた	①真実の口
1097	阿部　文彦	真実の口に入れたい議員の手	①真実の口
1098	阿部　文彦	子のフード豆受けにする節分会	②節分
1099	阿部　文彦	神妙に老婆が並ぶ針供養	③針供養
1100	ハイジ	恋心ひた隠しつつ会いにゆく	①真実の口
1101	ハイジ	隣の子豆撒いているウチの庭	②節分
1102	ハイジ	冗談と捉えて欲しい本音ある	①真実の口
1103	みやびうま	真実は手より心で口ずさむ	①真実の口
1104	みやびうま	豆まきで値上げの鬼を下げ叫ぶ	②節分
1105	みやびうま	折れるほど尽くした感謝の針供養	③針供養
1106	福井 孝典	苦くても真実の口笑み返す	①真実の口
1107	福井 孝典	鬼は外！コロナの鬼去り福は内	②節分
1108	福井 孝典	針供養母の思い出縫い合わせ	③針供養
1109	金子ヒカル	ニッポンの休日足りぬと君が言う	①真実の口
1110	ゴムの婿	落花生おみくじ入りのお振る舞い	②節分
1111	ゴムの婿	父の面破かれたのは仏心	②節分
1112	ゴムの婿	葉より豆煮るより投げる鬼日和	②節分
1113	猫ロンダ	真剣な豆まき妻のドスの声	②節分
1114	猫ロンダ	鬼の面妻の顔ほど怖くない	②節分
1115	猫ロンダ	新商品真実の口売れ伸びず	①真実の口
1116	わこわこ	そんなにも働いていた針と指	③針供養
1117	わこわこ	豆好きな母はいつでも鬼の役	②節分
1118	わこわこ	迷惑を被っていたあの口は	①真実の口
1119	松田少納言	微笑ましい王女のロマン知る名所	①真実の口
1120	松田少納言	おしゃべりな妻には酷な恵方巻	②節分
1121	松田少納言	針ほども労われずに居る夫	③針供養
1122	やまびこ	近頃は裁縫するひと希少価値	③針供養
1123	やまびこ	福豆を家族で食べてハッピーに	②節分
1124	やまびこ	閉ざされる真実の口永田町	①真実の口
1125	夏川涼	真実の口や名画の名場面	①真実の口
1126	夏川涼	真実の口を国会議事堂へ	①真実の口
1127	夏川涼	国会に真実の口あったなら	①真実の口
1128	佐千子	あの発言真実の口真意問う	①真実の口
1129	佐千子	歳の数豆食べ呼んだ救急車	②節分
1130	佐千子	してますか？豆腐の中で成仏を	③針供養
1131	モコモコ	げんまんの針千本を供養する	③針供養
1132	海神　瑠珂	腕抜けぬわが言はほぼ嘘ばかり	①真実の口
1133	海神　瑠珂	わが口へ豆まけど鬼出て行かず	②節分
1134	海神　瑠珂	妻よりも細い身でよく働いた	③針供養
1135	浅草ジイ	豆まきは「鬼は外」のみ掃除なし	②節分
1136	浅草ジイ	恵方巻きガブリ幸せ邪気はどこ	②節分
1137	浅草ジイ	裏金は真実の口黙らせる	①真実の口
1138	ピノコ	国会に真実の口置きまほし	①真実の口
1139	鎌田　誠	節分に年の数だけ齧られず	②節分
1140	鎌田　誠	ロシーンローマの休日引き込まれ	
1141	なし	あればいい真実の口永田町	①真実の口
1142	佐野博司	真実の口が見えない永田町	①真実の口
1143	佐野博司	温暖化季節の行事おろおろと	②節分
1144	けんちゃん	嘘つきも口に手を入れ供養され	①真実の口
1145	伊藤　芙沙江	ガラッと開け消え入りそうな鬼は外	②節分
1146	伊藤　芙沙江	胸に潜む鬼よさらばじゃ福は内	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1147	伊藤　芙沙江	亡母の針のお陰文金高島田	③針供養
1148	あざみのかかし	飲ませたい針千本政治家に	③針供養
1149	あざみのかかし	節分に今時（なんどき）かと豆を食べ	②節分
1150	あざみのかかし	嘘を言い手を切り落とし臍（ほぞ）を噛む	①真実の口
1151	マスオ	置きましょう真実の口を国会に	①真実の口
1152	マスオ	鬼は外口には出さぬが妻のこと	②節分
1153	中年やまめ	俺ペック君へプバーンハイカット	①真実の口
1154	中年やまめ	戦争を嘆き豆まく浅草寺	②節分
1155	中年やまめ	痛いとも言わずに針を食う豆腐	③針供養
1156	杉本隆文	節分が豆から巻きずし役代わり	②節分
1157	杉本隆文	年の数豆を食べたら胸焼けし	②節分
1158	杉本隆文	「鬼は外！」今懐かしい昭和かな	②節分
1159	桜井海洋	センセイの真実の口保身から	①真実の口
1160	たかさま	恵方巻値段が高く手が出せぬ	②節分
1161	たかさま	仕方ない表金しか無い我が家	①真実の口
1162	たかさま	意味知らぬ妻に聞かせる針供養	③針供養
1163	田嶋楯夫	嘘つくと口まがる癖のみこまれ	①真実の口
1164	田嶋楯夫	厄払いひいらぎの葉で身を守り	②節分
1165	白衣堂正美	真実の口の雑談腹三分	①真実の口
1166	白衣堂正美	真実の口のセカンドパートナー	①真実の口
1167	白衣堂正美	針供養まち針を抜く平和主義	③針供養
1168	森下美津治	雄弁になる真実の口の前	①真実の口
1169	森下美津治	憐れやな針を刺されて捨てられる	③針供養
1170	森下美津治	針供養とうふ供養もしてあげて	③針供養
1171	健康志向	寒い冬何処か聞える節分の声	②節分
1172	石井秀一	真実の口より先に手が回り	①真実の口
1173	石井秀一	鬼やらい忘れた頃に豆ひとつ	②節分
1174	石井秀一	政治家の手こまねいて真実の口	①真実の口
1175	となみ	手が抜けぬ政治家多し永田町	①真実の口
1176	となみ	鬼は外妻に投げれば追い出され	②節分
1177	となみ	宿題の雑巾縫って針供養	③針供養
1178	天音	政治家を丸ごと入れて取り替えたい	①真実の口
1179	天音	鬼は外それなら私も外でなきゃ	②節分
1180	天音	歳の数豆食う前に年忘れ	②節分
1181	矢野　毅	節分に豆を数えて歳を識る	②節分
1182	矢野　毅	雪が舞い福鬼共に豆を撒く	②節分
1183	矢野　毅	本当なの差し込む手先震えてる？	①真実の口
1184	小林　邦彦	ＡＩも真実の口入れてみて	①真実の口
1185	小林　邦彦	満にして数えは無理だ豆の数	②節分
1186	小林　邦彦	針供養四年振りでも光っている	③針供養
1187	まっさん	真実の口開いても虚偽にされ	①真実の口
1188	まっさん	追い出した鬼戻ったか厄三つ	②節分
1189	まっさん	釣り針も針の仲間よ針供養	③針供養
1190	齋藤　舜	仕事柄痩せれない真実の口	①真実の口
1191	齋藤　舜	豆腐にもつぼがあるので針供養	③針供養
1192	齋藤　舜	節分でないのに父が出て行った	②節分
1193	かた　こるよ	真実を言える社会が開く未来	①真実の口
1194	かた　こるよ	針供養感謝の気持ちハリセンボン	②節分
1195	かた　こるよ	豆をまきおしくらまんじゅう鬼の影	②節分
1196	カワセミ君	見抜けるか真実の口詐欺の口	①真実の口
1197	カワセミ君	叫ぶなら鬼は外より熊は外	②節分
1198	カワセミ君	供養にも優しさ添える和の心	③針供養
1199	ハッピー椿	豆まきの推しは殻付き落花生	②節分
1200	ハッピー椿	豆まきの鬼役いつもお父さん	②節分
1201	ハッピー椿	針供養刺された豆腐はハリネズミ	③針供養
1202		真実は口を通ると嘘になり	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1203		真実は駱駝を通す針の穴	①真実の口
1204		折節を分けることなきビルの森	②節分
1205	前田 ひろみ	口を見て国際通りでお買いもの	①真実の口
1206	前田 ひろみ	浅草で感じられるはローマの風	①真実の口
1207	前田 ひろみ	愛誓う二人を見守るビューホテル	①真実の口
1208	のほほん	痛いのは当てられるより踏んだ豆	②節分
1209	のほほん	口よりも目が語っている正直に	①真実の口
1210	のほほん	撒いた豆掃除するまでが節分だ	②節分
1211	安東　喜一郎	政治家は嘘と黙りどの口が	①真実の口
1212	安東　喜一郎	節分は一大行事今ひとり	②節分
1213	安東　喜一郎	鬼の役途絶えて久し豆恋し	②節分
1214	恋さん	二番目よ今さらだけど好きな順	①真実の口
1215	恋さん	まく豆は経済的に中国産	②節分
1216	恋さん	夜なべした母さんの針供養する	③針供養
1217	大熊和也	鬼の面いらぬ豆まき妻の顔	②節分
1218	大熊和也	針供養終り坊さん鍼を打つ	③針供養
1219	大熊和也	家の外豆を食べてる鬼と鳩	②節分
1220	ハルル	針仕事母は正座の針供養	③針供養
1221	ハルル	待ち針の玉の光や針供養	③針供養
1222	ハルル	ミシン踏む音も懐かし針供養	③針供養
1223	極楽とんぼ	鬼は外鬼より怖いうちの妻	②節分
1224	極楽とんぼ	真実は一つじゃないとへらず口	①真実の口
1225	極楽とんぼ	真実の口より恐い妻の口	①真実の口
1226	粘着テープ	鳩のように鬼は豆見て驚かない	②節分
1227	粘着テープ	どの辺り向き食べたかな恵方巻き	②節分
1228	粘着テープ	恵方巻き食べ思い出すこんな味	②節分
1229	もたもた	布と布橋渡し役の勤め終え	③針供養
1230	もたもた	撒いた豆片付ける手間に鬼笑う	②節分
1231	もたもた	恵方巻き喉つかえ鬼の手も借りたし	②節分
1232	ブラックココ	針供養祖母の笑顔がよみがえる	③針供養
1233	ブラックココ	節分じゃなくても家には鬼がでる	②節分
1234	ブラックココ	鬼嫁に豆は通じず土下座する	②節分
1235	宮下浩子	絹、木綿豆腐で労う針供養	③針供養
1236	宮下浩子	木綿針労う供養絹豆腐	③針供養
1237	宮下浩子	身を清め偽り無くし手を入れる	①真実の口
1238	策々	政治家の真実語る口何処	①真実の口
1239	策々	政治家が真実語る口はどこ	①真実の口
1240	私はだーれ	「好きだよ」と言う彼の嘘発見器	①真実の口
1241	私はだーれ	鬼よりも怖い形相妻の顔	②節分
1242	私はだーれ	千人針先人達に思いはせ	③針供養
1243	よっしー	鬼面のパパを追い出しママご機嫌	②節分
1244	よっしー	マママジで鬼面パパに豆ぶつけ	②節分
1245	よっしー	鬼面のパパが逃げ出し帰らない	②節分
1246	二匹目のどぜう	政治家は真実の口手は足りず	①真実の口
1247	二匹目のどぜう	鬼退治キックバックの桃太郎	②節分
1248	二匹目のどぜう	針よりもバット供養の大谷さん	③針供養
1249	なかやん	銀幕のローマの休みはヘップバーン	①真実の口
1250	なかやん	独居はつもりとふりで節分会	②節分
1251	なかやん	大多福に出番とられて青くなり	②節分
1252	しなやかーる	真実の口から遠い裁判所	①真実の口
1253	しなやかーる	真実から一番遠い人の口	①真実の口
1254	しなやかーる	物価高豆は蒔かずに口の中	②節分
1255	ふむふむ	歳の数お豆で胸焼けご用心	②節分
1256	ふむふむ	巻きずしが鬼高いのでカッパ巻き	②節分
1257		鬼は外我が家に福をマメ食らい	②節分
1258		安倍派だけ疑わしきはみな同じ	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1259		針の無い安堵な暮らし手を合わせ	③針供養
1260	高尾 真司	お庭外ふるさとみんな福わ家	②節分
1261	高尾 真司	大掃除真剣にやる積極を	①真実の口
1262	柴谷哲弥	罰ゲーム十回まわって恵方向く	②節分
1263	柴谷哲弥	五歳児が百歳分の豆食らう	②節分
1264	RON	我が家では真実をいう妻が噛む	①真実の口
1265	RON	食べきれず命危ない鳩にやる	②節分
1266	RON	折れ曲がりお疲れ様と針供養	③針供養
1267	石垣ようせい	節分や心明るく身も軽し	②節分
1268	まやのじいじ	ここだけの話しがいつかみんな知り	①真実の口
1269	まやのじいじ	浮気した父ちゃんめがけ豆が飛ぶ	②節分
1270	まやのじいじ	母ちゃんの鬼の形相豆ぶつけ	②節分
1271	しげやん	口固い女にもてる発射台	①真実の口
1272	しげやん	我が家風豆まきよりもマメな日々	②節分
1273	しげやん	針供養終えて万全老後サア	③針供養
1274	野崎文明	幼子が鬼に向かいて豆鉄砲	②節分
1275	三四郎	手を口に入れたい政治家ばかりなり	①真実の口
1276	三四郎	豆撒きに袋に入れてと注文し	②節分
1277	三四郎	振袖も難なく縫っていた亡母	③針供養
1278		腹黒い真実言わぬ政治世界	①真実の口
1279		真実は闇の中墓に真実	①真実の口
1280		鬼はどこ家の中私の父親	②節分
1281	aurora	年の数昔は足りず今多し	②節分
1282	aurora	真実を知らぬ幸せあるはずだ	①真実の口
1283	aurora	ありがとうこれが最後の褒め言葉	③針供養
1284	ひろP	朝帰りダンナに聞かせる「アレは外」	②節分
1285	ひろP	半額を待って買います恵方巻	②節分
1286	ひろP	孫娘取れたボタンに接着剤	③針供養
1287	なつ	鬼役は？夫と子ども我を指す	②節分
1288	なつ	ダメ元で夫は外へ鬼は内	②節分
1289	なつ	お試しで交換するか彼と鬼	②節分
1290	くんぼー	錆びついた針と一緒に厄落とす	③針供養
1291	一徹	嫁の前真実の口手を入れぬ	①真実の口
1292	一徹	値上がりし何時もの半分豆を撒く	②節分
1293	一徹	事八日彫り師の針も供養する	③針供養
1294		食う豆を乙女心で10減らす	②節分
1295	フダさん	便りにて妻へ感謝の針供養	③針供養
1296	拓ちゃん	キックバック真実の口に手を入れろ	①真実の口
1297	拓ちゃん	鬼の面つけパパはしゃぐ子供より	②節分
1298	拓ちゃん	豆腐こんにゃく譲り合ってる針供養	③針供養
1299	シャガール	政治家に真実の口不必要	①真実の口
1300	シャガール	隅々の終の住処へ豆を撒く	②節分
1301	シャガール	母よりも器用な息子針供養	③針供養
1302	つばさ	歳の数食えるもんかいすり潰す	②節分
1303	つばさ	豆腐にも刺さらないほど酷使され	③針供養
1304	つばさ	ローマにも行ってみないと口つむぐ	①真実の口
1305	祥雪（しょうせつ）	鬼役も豆拾う朝春立ちぬ	②節分
1306	ミックス犬さちのママ	まめまきを待ちわびているひとだかり	②節分
1307	ミックス犬さちのママ	節分に餅まめ投げて盛り上がる	②節分
1308	ミックス犬さちのママ	福の神鬼来ないでと叫び鳴き	②節分
1309	霧星大寒	正直に福豆食うは子供だけ	②節分
1310	霧星大寒	針仕事年に一度で針健忘	③針供養
1311	霧星大寒	抜かぬので引っ張り腫れて抜けぬなり	①真実の口
1312	洗人	真実の口の中には舌二枚	①真実の口
1313	洗人	なんでだよこの俺に豆ぶつけるな	②節分
1314	洗人	飲まされた針は千本優に超え	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1315	コアラ	チクチクとわたし辛口自分供養	③針供養
1316	コアラ	マスコミもネットでバレる隠し事	①真実の口
1317	コアラ	キックバック非課税課税インボイス	①真実の口
1318	のんちゃん	バラ色の夢見て歩むいばら道	①真実の口
1319	のんちゃん	自助頼み子育て支援当てにせず	①真実の口
1320	のんちゃん	無償化と掛け声ばっかいつの日に	①真実の口
1321	よっちゃん	七十五年金はるか遠ざかり	①真実の口
1322	よっちゃん	近未来我を支えるひと何処	①真実の口
1323	よっちゃん	インボイス血税絞られ細々と	①真実の口
1324	増田　かすが	真実の口に噛まれる我が心	①真実の口
1325	増田　かすが	歳の数豆食べ切れず腹膨れ	②節分
1326	増田　かすが	折れた針神社に納め手を合わせ	③針供養
1327	ヨウゾウ	真実をほどほど話す老夫婦	①真実の口
1328	ヨウゾウ	ガザの地も福よ来いよと節分会	②節分
1329	ヨウゾウ	かえはぎや仕立て直しのSDGｓ	③針供養
1330	たかさま	いいものが消えてなくなる令和かな	①真実の口
1331	たかさま	鬼はうち福は外かよとほほのほ	②節分
1332	たかさま	裁縫のできる男子が豆腐にね	③針供養
1333	みらいむ	鬼は外大豆高騰つつましく	②節分
1334	みらいむ	妻が子に豆ぶつけられ鬼と化す	②節分
1335	みらいむ	恵方巻黙らせるのは具のカニか	②節分
1336	噂野アンドゥー	嘘八百真実の口ただ一つ	①真実の口
1337	噂野アンドゥー	USJの節分ナイト豆を撒く	②節分
1338	噂野アンドゥー	如月の鬼滅の刃豆を撒く	②節分
1339	フダさん	真実の口に心もつつしんで	①真実の口
1340	小野みふ	豆投げて泣き虫鬼を退治の児	②節分
1341	小野みふ	全方位感謝しかじる恵方巻	②節分
1342	小野みふ	夕空に映える針山カラス鳴く	③針供養
1343	村田真	鬼は外こどもが父に投げつける	②節分
1344	村田真	とりあえず手を入れ写真撮っとくか	①真実の口
1345	村田真	針供養指刺すことが減るように	③針供養
1346	ゆうゆう	豆撒けば鬼を負かして春が来る	②節分
1347	ゆうゆう	針供養ご苦労様の針仕事	③針供養
1348	ゆうゆう	節分の光と風が春を呼ぶ	②節分
1349	紫月	真実の口に入れたい人ばかり	①真実の口
1350	紫月	父親はサンタと鬼の二刀流	②節分
1351	紫月	名札縫い指染めたこと懐かしみ	③針供養
1352	袴田　奈月	戦争は他人事なれや鬼は外	②節分
1353	袴田　奈月	食べきれずポチと分け合う豆の数	②節分
1354	袴田　奈月	裁縫部男子もすなる針供養	③針供養
1355	麻風瑠	福は世に平和な世界早く来い	②節分
1356	ビ美エイ泳	現実の愚痴にごるなシン真実	①真実の口
1357	ビ美エイ泳	゛を取り゜足すと接吻７回	②節分
1358	ビ美エイ泳	針切って浅草からパリ経由で	
1359	岩窟王	政治金皆嘘つき噛みつかれ	①真実の口
1360	岩窟王	聞く耳が針の筵の針供養	③針供養
1361	岩窟王	聞く耳が四面楚歌なり鬼は外	②節分
1362	フナチャン	「これマズイ！」子は真実の口をもつ	①真実の口
1363	フナチャン	子の豆は三粒早く大きくなれ	②節分
1364	フナチャン	残したい日本のこころ針供養	③針供養
1365	金道　博之	オードリーの泣き顔可憐真実の口	①真実の口
1366	金道　博之	年の数豆食べきれず鬼は外	②節分
1367	金道　博之	福は内あなたは外と妻が言い	②節分
1368	クリームパン	真実を言って妻からグーパンチ	①真実の口
1369	玉脇豪人	浅草はローマじゃないと手が抜けず	①真実の口
1370	玉脇豪人	二年間マスクをつけて寝てました	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1371	玉脇豪人	豆食べる平和ボケした鳩がいる	②節分
1372	福間ちゃんぽん	真実を喋る子供の口押さえ	①真実の口
1373	福間ちゃんぽん	寒かろと福も鬼もと内に撒く	②節分
1374	福間ちゃんぽん	針供養あんなに刺すと豆腐、痛	③針供養
1375		言の葉に重さ宿して真実を	①真実の口
1376	青島広太	もう一度妻と観ようかあの映画	①真実の口
1377	青島広太	鬼は内福は外へと逃げる世よ	②節分
1378	青島広太	蒟蒻と豆腐が売れる謎解ける	③針供養
1379	尊の君	真実につむぐ図星とシラ切れぬ	①真実の口
1380	尊の君	鬼は外イジメと言われ家で撒く	②節分
1381	尊の君	一刺しの蜂に政治が怯える日	③針供養
1382	フダさん	豆が舞う福を呼び込む幸の玉	②節分
1383	祥雪（しょうせつ）	こんにゃくで針もお肌もハリ供養	③針供養
1384	ジョンノレン	節分に食品ロスの鬼退治	②節分
1385	ジョンノレン	落花生大豆も投げて二豆流	②節分
1386	なし	年の数豆を食べると腹壊す	②節分
1387	木登　あお	夜空へと種まくように豆まく子	②節分
1388	木登　あお	握る数増えて感じる子の成長	②節分
1389	M東村	鬼は外ちょっとケチって５粒投げ	②節分
1390	TukiSunＺ	口閉ざせ何も語るな「控えます」	①真実の口
1391	TukiSunＺ	真実の扉を言葉で開けてみよ	①真実の口
1392	TukiSunＺ	真実の口に手を差す恐怖かな	①真実の口
1393	TukiSunＺ	撤回し拭った口で政治する	①真実の口
1394	TukiSunＺ	その口が真実語るかプロポーズ	①真実の口
1395	TukiSunＺ	恵方巻き願いを込めて食べる夜	②節分
1396	やっちゃば	鬼の面被りし吾子の無邪気かな	②節分
1397	やっちゃば	汚れた手それで払うか民の声	①真実の口
1398	やっちゃば	豆腐なくこんにゃくもなく戻す針	③針供養
1399	清八（きよはち）	手が抜けず寅さんこんなとこにいた	①真実の口
1400	M東村	事八日何かようかと針が聞く	③針供養
1401	わはは男爵	針供養求肥に刺して抜けられず	③針供養
1402	尾原敏広	真実の口から洩れた淡い嘘	①真実の口
1403	尾原敏広	ほころびを縫い合わせては針供養	③針供養
1404	抹茶坊主	何気なくぽろっと話す酒の席	①真実の口
1405	抹茶坊主	節分で魚と言えばフグは内	②節分
1406	抹茶坊主	真実を容疑者語る取り調べ	①真実の口
1407	近藤　己順	節分に豆と一緒に怒り巻く	②節分
1408	近藤　己順	節分に強く願った福よ来い	③針供養
1409	近藤　己順	豆まきの鬼怖すぎて子供逃げる	②節分
1410	さぬき姫	糸かけの仕方も忘れ針納め	③針供養
1411	ツルボン	恵方巻向きを間違え幸逃す	②節分
1412	園田　浩	よく喋る妻とデートの午後３時	①真実の口
1413	園田　浩	口数を少し増やして咲く老後	①真実の口
1414	園田　浩	何故だろう妻は夫に豆投げる	②節分
1415	花太郎	空いた口がふさがらないよ真実の口	①真実の口
1416	花太郎	鬼達が呆れるニッポン裏と闇	②節分
1417	花太郎	政治資金税はそとー！で金はうちー！	②節分
1418	中澤仁捷	外つ国の豆で追い出す鬼やらい	②節分
1419	中澤仁捷	古希はまだ村で若手の追儺寺	②節分
1420	中澤仁捷	米寿来てしゃぶる八粒の年の豆	②節分
1421	タマツ	角さんが政治に金を拡散す	①真実の口
1422	稲山博司	ひとり手を挙げた奥歯に風孕む	①真実の口
1423	稲山博司	鬼は外鬼が掃除をして終わる	②節分
1424	稲山博司	針山といっしょに母も供養する	③針供養
1425	福田真	無事に済む人はいるのか？いないよな	①真実の口
1426	福田真	手加減を知らぬ子供ら鬼辛い	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1427	福田真	巣立った子思い出浸る針供養	③針供養
1428	田村直樹	自撮りする針しらぬ指針供養	③針供養
1429	田村直樹	作り笑い恐る恐ると手を入れる	①真実の口
1430	田村直樹	我が孫に分けてあげたい歳の数	②節分
1431	宮下彩香	手を入れる前に神社で身を清め	①真実の口
1432	宮下彩香	コンパスで確かめ食べる恵方巻	②節分
1433	宮下彩香	木目針木綿豆腐に針供養	③針供養
1434	南北	真実の口も時には二枚舌	①真実の口
1435	南北	生かされてもう食べきれぬ齢の数	②節分
1436	南北	母の肩揉んで労う針供養	③針供養
1437	黄金虫	嘘つけず手抜きできずに損ばかり	①真実の口
1438	黄金虫	追い払う鬼打ち豆で「クマは外」	②節分
1439	黄金虫	飲み会でひと言余計針の山	③針供養
1440	ハーフムーン	真実の口を塞ぐな司直の手	①真実の口
1441	ハーフムーン	真実の口に尻込みする議員	①真実の口
1442	ハーフムーン	妻の背にこっそり投げる豆の殻	②節分
1443	シャレスキー東村	妻の過去真実の口閉じたまま	①真実の口
1444	花一匁	真実を語る政治家落選し	①真実の口
1445	花一匁	「福は爺！鬼は婆だ！」と豆撒く孫	②節分
1446	花一匁	裁縫の不得手を隠し針供養	③針供養
1447	榎森　俊子	鬼嫁に心で叫ぶ嫁は外	②節分
1448	榎森　俊子	豆まきの翌日任せたルンバ様	②節分
1449	榎森　俊子	恵方巻方位磁針で念を入れ	②節分
1450	三本足のかかし	下町にゃ江戸と呼びたい風情あり	①真実の口
1451	汐海　岬	老母へのちいさな嘘はお目こぼし	①真実の口
1452	汐海　岬	甘すぎるセリフに口が塞がらぬ	①真実の口
1453	汐海　岬	口だけの恋をギロリとにらむ口	①真実の口
1454	くずれ荘管理人	「不味いよ」と真実言えず「美味しいね」	①真実の口
1455	くずれ荘管理人	真実の口が見事に忠実に	①真実の口
1456	くずれ荘管理人	針供養背中刺される鍼灸師	③針供養
1457	アルサプア	真実を口は言わぬが目が泳ぐ	①真実の口
1458	アルサプア	真実は一つのはずが口数多	①真実の口
1459	アルサプア	今どきの豆腐寂しげ針供養	③針供養
1460	こなっち	玄関に真実の口飾りたい	①真実の口
1461	こなっち	節分と天秤かけるフードロス	②節分
1462	こなっち	豆腐より羊羹がいい針供養	③針供養
1463	はぐれ雲	真実は一つと神は知っている	①真実の口
1464	はぐれ雲	真実に手も足も出ぬ嘘の人	①真実の口
1465	はぐれ雲	嘘だって真実になることがある	①真実の口
1466	ピアノカフェ	手編み着て告白された針供養	③針供養
1467	ピアノカフェ	鬼は外小袋のまま投げる豆	②節分
1468	ピアノカフェ	母嘆く通せぬ糸と針供養	③針供養
1469	ミファ	妻投げる豆が痛いの気のせいか	②節分
1470	ミファ	定年の針を労う大晦日	③針供養
1471	ミファ	まち針のかんざしつける豆腐かな	③針供養
1472	かえる	祭り友亡くして一人針供養	③針供養
1473	かえる	豆の数歳に足りない節分会	②節分
1474	かえる	旅先で使った針もお疲れさん	③針供養
1475	微笑亭さん太	手には豆嫁と姑互い見る	②節分
1476	微笑亭さん太	豆まきを独りでやれば『鬼はソロ』	②節分
1477	微笑亭さん太	豆をまく妻のその顔鬼が棲む	②節分
1478	桜小町	真実の口より怖し妻の愚痴	①真実の口
1479	桜小町	四畳半隅から去年（こぞ）の福の豆	②節分
1480	桜小町	絹豆腐針の人生受け止める	③針供養
1481	こいさん	鬼は外！うるさい！世間は鬼ばかり	②節分
1482	こいさん	夫婦仲破れほつれも針供養	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1483	こいさん	エッフェルへ行くのに行かぬイタリアへ	①真実の口
1484	松田忠二	しがらみで縛られ口は閉ざされた	①真実の口
1485	松田忠二	幼少時せっぷんと読み顔赤らめ	②節分
1486	松田忠二	言いたいが言わぬが仏口流され	①真実の口
1487	まびちゃん	故郷を兎美味し蚊の山と	①真実の口
1488	まびちゃん	ビンタ音先生涙みなシーン	①真実の口
1489	まびちゃん	日本のへそ天照は女性だし	①真実の口
1490	ついにジー	パパ鬼に娘やさしく鬼は外	②節分
1491	ついにジー	鬼は外ちょっと多めに福は内	②節分
1492	ついにジー	豆だけでお腹いっぱい70歳	②節分
1493	多賀二郎	真実は後から言ったほうがいい	①真実の口
1494	多賀二郎	鬼の面外したほうが鬼っぽい	②節分
1495	多賀二郎	針供養豆腐無くなりあんまんで	③針供養
1496	小林功	大口を叩かぬようにおちょぼ口	①真実の口
1497	小林功	面かぶる父より恐い母の顔	②節分
1498	小林功	豆で知るサバ読んでいた母の歳	②節分
1499	池さん	物価高ハーフサイズに恵方巻き	②節分
1500	池さん	値上げ鬼勘弁してと豆をまき	②節分
1501	池さん	アレは内謎のワードで豆を撒く	②節分
1502	風花	邪気祓う鬼役夫に湧く邪心	②節分
1503	風花	節分もモテるためにもマメ大事	②節分
1504	風花	満を持し節分ロボのご登場	②節分
1505	牽牛	真実の口が許した残りの日	①真実の口
1506	牽牛	食べきれぬ齢かさねて福茶飲む	②節分
1507	牽牛	針供養欠かさぬ若きデザイナー	③針供養
1508	下町人	パーティーのキックバックに口封じ	①真実の口
1509	下町人	第5類マスクを外しコロナ外	②節分
1510	下町人	支持率の針の筵に脱派閥	③針供養
1511	照山紅葉	偽りの心なくても抜けぬ沼	①真実の口
1512	照山紅葉	この街は正直者が多く住み	③針供養
1513	しむえり	掃除ヤダ投げたふりして口に入れ	②節分
1514	しむえり	強い鬼味方につけたほうがいい	②節分
1515	しむえり	鬼も福願って生きてるよたぶん	②節分
1516	atu	誕生日2月3日でお気に入り	②節分
1517	ごっちょさん	真実の口へ投げ込む裏帳簿	①真実の口
1518	ごっちょさん	針よりも妻へ感謝の針供養	③針供養
1519	ごっちょさん	嘘つきへ飲ませた針の針供養	③針供養
1520	のろまのロマン	言い訳も妻じゃ手がない嘘ばれる	①真実の口
1521	のろまのロマン	鬼は外あれおかしいな鬼が内	②節分
1522	のろまのロマン	供養する針を無くして大騒ぎ	③針供養
1523	四代文明	真実の口に手を入れ戻しそう	①真実の口
1524	えみりぃ	真実の口に日本の未来聞く	①真実の口
1525	正直者	真実の口より怖い妻の口	①真実の口
1526	正直者	真実の口を置きたや国会に	①真実の口
1527	正直者	真実の口も爆笑ネタ芸人	①真実の口
1528	にゃんこ	鬼の役請われる前に買ってでる	②節分
1529	にゃんこ	孫の描く鬼は私にどこか似て	②節分
1530	にゃんこ	こんにゃくを終の棲家と針は決め	③針供養
1531	さわだま	「鬼は外」豆を投げてる小鬼達	②節分
1532	さわだま	豆まきがいつの間にやら豆拾い	②節分
1533	さわだま	豆巻きの翌朝鳥のレストラン	②節分
1534	鶴見川風雲水	このロがウソを言えたら波風が	①真実の口
1535	鶴見川風雲水	なぜなんだホンネを言えば角が立つ	①真実の口
1536	鶴見川風雲水	淡き夢伝えたいのは一人だけ	①真実の口
1537		豆まきやカラスも食わん豆掃除	②節分
1538	橋場美季	掃除機にからまる去年まいた豆	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1539	二代目リン	政治家に真実語る口あげて	①真実の口
1540	二代目リン	選挙では“真実の口”を義務にしよ	①真実の口
1541	二代目リン	半世紀あの口はもう入れ歯かな？	①真実の口
1542	豆助	ダメ出しは真実語る愛の鞭	①真実の口
1543	豆助	ダメ亭主鬼にし追い出す豆ぶつけ	②節分
1544	豆助	真実は本気で怒らせ探る妻	①真実の口
1545	眞奈美	淡島堂祖母に代わって針供養	③針供養
1546	眞奈美	節分会福聚の舞で鬼退散	②節分
1547	眞奈美	浅草で腕が抜けずに人だかり	①真実の口
1548	まっちゃん。	真実の口が欲しがる詐欺師の手	①真実の口
1549	まっちゃん。	残業を断り帰り鬼の役	②節分
1550	まっちゃん。	厄除けの豆さえ減らす物価高	②節分
1551	正能　照也	午前様ピンポンするも鬼は外	②節分
1552	正能　照也	もう今や歳の数ほど豆食えず	②節分
1553	正能　照也	むごいな一鬼に豆を投げるなど	②節分
1554	もくず	いままでにまことのことの記憶なし	①真実の口
1555	もくず	汚いと云われた豆を拾う癖	②節分
1556	松本俊彦	２歳児は何の衒いもなくするり	①真実の口
1557	松本俊彦	福は内いやそう言わず世界中	②節分
1558	松本俊彦	やめとくかついこんにゃくの身になって	③針供養
1559	あるふぉんそ	開いた口閉まりぱなしの政治ショー	①真実の口
1560	あるふぉんそ	恵方巻次はケーキか大福か	②節分
1561	あるふぉんそ	お針子の面影見ゆる針供養	③針供養
1562	畑中 靖皓	鬼の手も借りたい子育てぜひ家に	②節分
1563	畑中 靖皓	妻を見て心の中で鬼は内	②節分
1564	畑中 靖皓	フードロス豆は投げずに寄付をする	②節分
1565	千流	ローマにも真実の口ありました	①真実の口
1566	千流	鬼の面とれば可愛い女の子	②節分
1567	千流	針供養豆腐の身にもなってくれ	③針供養
1568	ヨッシイ	針穴がなかなか見えぬ目供養	③針供養
1569	ヨッシイ	笑い鬼うちのかみさんシワ手入れ	②節分
1570	ヨッシイ	ローマまで飛んで確認妻の愛	①真実の口
1571	小松真人	真実の口にマスクをする議員	①真実の口
1572	小松真人	鬼は外Ｕターンする大寒波	②節分
1573	小松真人	亡き母の針箱探す事八日	③針供養
1574	桑原直子	真実の口に裏取る文春砲	①真実の口
1575	桑原直子	世知辛い世に一粒の反抗期	②節分
1576	桑原直子	錆びてても折れない針が凛と立つ	③針供養
1577	玉山智子	恵方巻き子どもの様子ちらと見て	②節分
1578	玉山智子	「鬼は外」自分の胸にそっと当て	②節分
1579	玉山智子	2本目は普通に食べる恵方巻き	②節分
1580	八木五十八	真実の口へ処理水流し込む	①真実の口
1581	八木五十八	鬼は外地球に誰もいなくなる	②節分
1582	八木五十八	綻びも祝ぎの日も知る針供養	③針供養
1583	もふもふ	針祀る手前取りした蒟蒻で	③針供養
1584	もふもふ	真実の口にも勝る減らず口	①真実の口
1585	もふもふ	SDGs節分豆も個包装	②節分
1586	仲手原　和彦	口開き真の心伝えたい	①真実の口
1587	仲手原　和彦	共に食うダーバーシティ鬼と福	②節分
1588	仲手原　和彦	縫い続けお疲れ様と手を合わす	③針供養
1589	ゆっちゃん　愛	鬼は外福は内だが家は逆	②節分
1590	ゆっちゃん　愛	針供養するのは妻でされるボク	③針供養
1591	ゆっちゃん　愛	豆まきで鳩より高く舞い上がる	②節分
1592	清八（きよはち）	嘘だって？それを言っちゃあおしまいよ	①真実の口
1593	清詩薫	節分に赤鬼が居る台所	②節分
1594	清詩薫	食べるにはもはや不可能豆の数	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1595	清詩薫	豆まきで部屋駆け回る掃除ロボ	②節分
1596		聖職者今は真面目に針供養	③針供養
1597		正月は竜虎の争いしばし息む	①真実の口
1598		我が家では夫ファースト夢の夢	①真実の口
1599	夢恋士	節分やふくはうちには十二着	②節分
1600	夢恋士	節分にお多福豆を喰らいけり	②節分
1601	夢恋士	節分と言えば吾妻とベーゼの日	②節分
1602	だっちっち	手を入れて口は手ほどにものを言う	①真実の口
1603	だっちっち	大谷の豆100マイルで鬼退治	②節分
1604	だっちっち	鬼の面息子に譲る日を想う	②節分
1605	豆鉄砲	届けたい真実の口永田町	①真実の口
1606	豆鉄砲	炒り豆に花とほおばり屁満開	②節分
1607	豆鉄砲	矍鑠と亡きおふくろの裁縫針	③針供養
1608	紫音	まいた豆愛犬食べて福は腹	②節分
1609	紫音	鬼役は毎年パパがかって出る	②節分
1610	紫音	玄関に柊飾り鬼は外	②節分
1611	池田玲亜	誰も皆手を抜くことはできないね	①真実の口
1612	池田玲亜	まいた豆拾って食べる鬼の面	②節分
1613	池田玲亜	針たちが一番驚く針供養	③針供養
1614	無色	真実の口を置きたい会見場	①真実の口
1615	無色	紛争地豆をまきたい鬼は外	②節分
1616	あまみ	妻よりも優しく見える鬼の面	②節分
1617	あまみ	鬼役を妻に任せて面要らず	②節分
1618	あまみ	愛してる愛しているが手は入れぬ	①真実の口
1619	寝起き顔	鬼はどこ？豆も高騰投げ惜しみ	②節分
1620	無色	鬼は外豆をまきたい紛争地	②節分
1621	はなはな	面着けた親父に豆投げ強くなる	②節分
1622	はなはな	鬼はパパ日頃の文句を豆に込め	②節分
1623	はなはな	鬼だって無言で食べたい恵方巻き	②節分
1624		節分に妻におねだり接吻す	②節分
1625		針供養しようと思えど針は無し	③針供養
1626		鬼退治余りに多くて豆足らず	②節分
1627	ノンタン	豆まきを心の中でする職場	②節分
1628	ノンタン	針供養装い隠す老眼を	③針供養
1629	ノンタン	恵方巻方角迷い途方巻	②節分
1630	岡田　不二夫	喜寿近し数個のうそは生きるため	①真実の口
1631	岡田　不二夫	頑張ろう嘘を真実にするために	①真実の口
1632	岡田　不二夫	針よりも突き刺さるのは彼の嘘	③針供養
1633	清八（きよはち）	豆打つな！鬼じゃねえ、さくらおりゃ寅だ	②節分
1634	鶴見川風雲水	真実と現実の狭間口寂し	①真実の口
1635	鶴見川風雲水	口は器用嘘と事実（まこと）を使い分け	①真実の口
1636	鶴見川風雲水	おつかれさん小さな針の大仕事	③針供養
1637	益田耕一	鬼は外誰もが望む福は内	②節分
1638	益田耕一	効果あり真実の口場所選び	①真実の口
1639	益田耕一	針供養老眼鏡で穴見つめ	③針供養
1640	竹澤　聡	もう嘘はつかぬと決めて告白す	①真実の口
1641	竹澤　聡	節分の鬼を演じてガオと言う	②節分
1642	竹澤　聡	こんにゃくの受難すなわち針供養	③針供養
1643	この日暮らし	豆撒きの後の世間は鬼ばかり	②節分
1644	この日暮らし	遠藤が大豆代わりに撒く小豆	②節分
1645	この日暮らし	使わなくなったミシンを出す供養	③針供養
1646	根本　剛	豆喰らい歳も食うのさ歳の数	②節分
1647	根本　剛	鬼は外鬼のかく乱鬼は家(うち)	②節分
1648	すすけ	本家より判断甘い口占い	①真実の口
1649	すすけ	鬼嫁と出かけてもいい節分会	②節分
1650	すすけ	毒針のようなその口供養して	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1651	九（いちじく）	『あの頃のムシロも持ちて針供養』	③針供養
1652	九（いちじく）	『豆まきはバレンタインのリハーサル』	②節分
1653	九（いちじく）	『真実の口は誰が持つのか政界の』	①真実の口
1654	ミセスハーブ	真実の口は災い招くだけ	①真実の口
1655	翔のんまな	真実は一つ怒号の中に澄む	①真実の口
1656	翔のんまな	酔っぱらいウソは一つもしゃべらない	①真実の口
1657	翔のんまな	泣き方で赤ちゃん意思を伝えてる	①真実の口
1658	滝田通江	豆まきも風流なくすパック豆	②節分
1659	滝田通江	としの数年々つまる命がけ	②節分
1660	滝田通江	時代かな知らぬどころか針持たぬ	③針供養
1661	矢野浩子	ヘップパーン気取り手を入れはしゃぐ人	①真実の口
1662	矢野浩子	帰宅後に喜んで鬼役優しき父	②節分
1663	矢野浩子	ほころんだらすぐ捨てる時代針不要	③針供養
1664	廣田高児	節分と球春恋し厳寒期	②節分
1665	廣田高児	独裁の鬼を退治へ豆を煎る	②節分
1666	廣田高児	AIへフェイクか否か聞いてみる	①真実の口
1667	原信彦	政治家が方便だと言い嘘を吐く	①真実の口
1668	原信彦	手を入れた妻は老婆の休日か	①真実の口
1669	原信彦	我が秘密一体いくつ墓に行く	①真実の口
1670	だじゃれマン	福豆を家に向かって鬼は外	②節分
1671	らびっとちゃん	俺の口真実だけが言えないよ	①真実の口
1672	らびっとちゃん	いつのまに食う豆増えたまるでハト	②節分
1673	コタラフ	金婚の父母がペックとヘプバーン	①真実の口
1674	コタラフ	恵方だとトイレを向いて皆で食べ	②節分
1675	コタラフ	定年後錆びた自分もねぎらおう	③針供養
1676	三浦　ユリコ	針供養今年は少ない針の数	③針供養
1677	三浦　ユリコ	針供養布地かさなり針を折る	③針供養
1678	三浦　ユリコ	曲がった針一本まじる針供養	③針供養
1679	あゆか	ばあちゃんの遠出の理由泊りがけ	③針供養
1680	あゆか	サビちゃって謝りながら手を合わせ	③針供養
1681	あゆか	頑張ってくれたお針のお見送り	③針供養
1682	藤田平和	本音は言わぬ口が裂けても	①真実の口
1683	藤田平和	歳の数豆食べ尽くし息絶える	②節分
1684	藤田平和	ばあちゃんの女子会になる針供養	③針供養
1685	カジ	針持たぬ子らが供養の針祭り	③針供養
1686	カジ	真実の口に濡れ衣着せられる	①真実の口
1687	カジ	鬼の面被れば懺悔のふたつみつ	②節分
1688	勲	虚と実の狭間を描く劇作家	①真実の口
1689	勲	投げた豆昨夜の鬼が掃き集め	②節分
1690	勲	折れた針豆腐に刺して感謝する	③針供養
1691	コナガヤマック	鬼嫁の豆投げ速度100マイル	②節分
1692	コナガヤマック	豆投げも今はコンプラうるさそう	②節分
1693	コナガヤマック	鬼は嫁冗談言って俺が外	②節分
1694	山茶花	ワクチンの針の供養はせぬままか	③針供養
1695	山茶花	豆まきで心の鬼を追い払う	②節分
1696	山茶花	真実の口で戸惑う人ばかり	①真実の口
1697	光元気	戯言よ嘘を諫める嘘の口	①真実の口
1698	光元気	豆足りぬ渡る世間は鬼ばかり	②節分
1699	光元気	豆腐刺すよりも癒さる針治療	③針供養
1700	喜連、瓜破。	ネットではフェイクの口がよくしゃべる	①真実の口
1701	喜連、瓜破。	鬼がいる外ではなくて映画館	②節分
1702	喜連、瓜破。	ハリネズミおぬしもするか針供養	③針供養
1703	上田文一	節分に弓を鳴らしつ練り歩く	②節分
1704	とし	真実の口も戸惑う「精査中」	①真実の口
1705	とし	「鬼は外」妻に気づかれ「福は内」	②節分
1706	とし	亡き婆婆の針に涙のファンタ爺	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1707	宇都宮千瑞子	口に手を入れたらゲップ立て続け	①真実の口
1708	宇都宮千瑞子	拾う手間考えまく豆五個までと	②節分
1709	宇都宮千瑞子	よく使い錆びつかぬよう針供養	③針供養
1710	斎藤弘美	真実の口で捧げる僕の愛	①真実の口
1711	斎藤弘美	鬼の面つけさせられて追い出され	②節分
1712	斎藤弘美	釣り針を持って夫も浅草寺	③針供養
1713	牛窪伸幸	いつの間に鬼も棲めない温暖化	②節分
1714	牛窪伸幸	豆の数足りるか妻と数え合い	②節分
1715	牛窪伸幸	あの鬼は親父じゃなかった誰だった	②節分
1716	唐変僕　長吉	ベックさん半袖着たらどう騙す	①真実の口
1717	唐変僕　長吉	鬼も逃げ肉刺できるほど豆鉄砲	②節分
1718	唐変僕　長吉	まち針で木綿カラフル武蔵坊	③針供養
1719		鬼は外鬼より怖し父の顔	②節分
1720		年明けに何もない年懐かしい	①真実の口
1721	駒形　忠衛	鬼はそと日頃の憂さを妻に向け	②節分
1722	駒形　忠衛	ピーナツで孫の好物鬼はそと	②節分
1723	駒形　忠衛	夜なべする母のおもかげ針供養	③針供養
1724	湘路	真実の口もかなわぬ妻の勘	①真実の口
1725	湘路	好きなほう向いて娘の恵方巻	②節分
1726	湘路	供養する臓器を縫った神の針	③針供養
1727	杉本正二	ハネムーン真実の口手が抜けぬ	①真実の口
1728	杉本正二	鬼は外なんで私が出されるの	②節分
1729	杉本正二	豆腐です針供養です痛いです	③針供養
1730	年金おじさん	分身を、世界中に、設置したい	①真実の口
1731	年金おじさん	國会の、入り口に置き、開催不能	①真実の口
1732	ハイジ	豆まきは隣家の庭に撒く子供	②節分
1733	ハイジ	豆つぶてマジに痛くて逃げ回り	②節分
1734	ハイジ	災いは鬼は内から始まった	②節分
1735	新屋洋子	「あの頃」と今日の私を見る未来	①真実の口
1736	新屋洋子	「あの頃」と今日の頑張り見る未来	①真実の口
1737	照輝	真実の口が噛んだと嘘をつき	①真実の口
1738	照輝	福は口鬼も口へと投げ入れる	②節分
1739	照輝	釣り人も大漁願い針供養	③針供養
1740	澄海	郵便は多分あそこと指を差し	①真実の口
1741	澄海	節分だ！アンタと接吻なぁぜなぜ？	②節分
1742	澄海	裁縫が出来ぬ姉行く針供養	③針供養
1743	よっこん	永田町真実の口はどこへやら	①真実の口
1744	よっこん	ニュースにも口の番人出番かな	①真実の口
1745	よっこん	手を抜かぬ誠なければ手が抜けぬ	①真実の口
1746	池田真弓	照れないで素直な気持ち言ってみる	①真実の口
1747	にしくん	福は内いやいや福は世界中	②節分
1748	にしくん	絹もめん布から豆腐事八日	③針供養
1749	にしくん	お針箱母の形見も針供養	③針供養
1750	井若　京子	折れた針とれないままのマイキルト	③針供養
1751	井若　京子	鬼の面喜ぶ人は家の外	②節分
1752	井若　京子	顔を見る真実の口話さない	①真実の口
1753	田村弘司	真実の口の中身は嘘ばかり	①真実の口
1754	田村弘司	迷ってるそれフェイクでしょはいカット	①真実の口
1755	田村弘司	ーと休ローマの真実さあドッチ	①真実の口
1756	若宮太郎	議員さん真実の口入れてみる？	①真実の口
1757	若宮太郎	国会に豆巻きしたら鬼が出る	②節分
1758	若宮太郎	芸能人口を噤んて恥を飲む	①真実の口
1759	ソフィーと双子の姉妹	なくし物捜すと見つかるまいた豆	②節分
1760	ソフィーと双子の姉妹	場当たりな上司の方針針供養	③針供養
1761	ソフィーと双子の姉妹	大掃除不意に出てくるまいた豆	②節分
1762		出口より現れる人見る指確かめる	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1763	ヒデヒデ	亡き母のチクリ小言に針供養	②節分
1764	ヒデヒデ	豆投げるその後妻は鬼戻り	②節分
1765	ヒデヒデ	鬼役の俺にめがけて妻投げる	②節分
1766	むーむー	悪事から手を引いてから手を入れる	①真実の口
1767	むーむー	老眼も供養をしたい針仕事	②節分
1768	むーむー	真実の口もたまには手抜きする	①真実の口
1769	国仲沙那	食べてない指がかまれたつまみ食い	①真実の口
1770	国仲沙那	福まねきテストと宿題鬼は外	②節分
1771	国仲沙那	針折れてしんの歴史をつむぎだす	③針供養
1772	しょうしょう	浅草の休日連れは恋女房	①真実の口
1773	しょうしょう	分断の社会を正す豆ふぶき	②節分
1774	しょうしょう	世知辛い世にひと刺しの針供養	③針供養
1775	乳母車の弥七	真実の口に噛まれる永田町	①真実の口
1776	乳母車の弥七	歳重ね数えをやめた豆の数	②節分
1777	乳母車の弥七	鬼は外もったいないと撒いた振り	②節分
1778		豆を撒く声で引き合う福の神	②節分
1779		針供養針と目と手にありがとう	③針供養
1780	つべる	盗った柿渋柿だった野球帽	①真実の口
1781	つべる	宵越しの銭は外にて赤ら鬼	②節分
1782	つべる	まち針の頭でなぞる生命線	③針供養
1783	タマツ	コロナ明け国際通りも国際化	①真実の口
1784	延永聖慈	洋裁で語るデザイン針納	③針供養
1785	延永聖慈	嘘つきも誠現われたじたじに	①真実の口
1786	延永聖慈	鬼さんも藻掻き苦しみ退散へ	②節分
1787	けろね	代議士に言葉はあるが実はならぬ	①真実の口
1788	けろね	弱い鬼ばかり見つけて「鬼は外」	②節分
1789	けろね	鬼の面取れば優しいママの顔	②節分
1790	オネストジョン	派閥の壁破る真実唯一の手	①真実の口
1791	オネストジョン	まいた豆鬼役じーじが食べつくす	②節分
1792	オネストジョン	布同士がっちり繋ぎ針供養	③針供養
1793	白石　雅義	最近は鬼も一緒に引きこもる	②節分
1794	白石　雅義	投げられてもつれる鬼の高齢化	②節分
1795	白石　雅義	節分の天敵エコともったいない	②節分
1796	配りや独歩	国会が真実の口開くかな	①真実の口
1797	配りや独歩	追い出せよキックバックの政治家を	②節分
1798	配りや独歩	針疲れ嘘つき多く閻魔様	③針供養
1799	置楽	おしゃべりな妻も黙らす恵方巻き	②節分
1800	置楽	婆ちゃんが目を丸くする豆の数	②節分
1801	置楽	出したいな妻のむしろも針供養	③針供養
1802	風隣	末席に釣り好きのいる針供養	③針供養
1803	風隣	真実の紙は丸めて口に入れ	①真実の口
1804	風隣	覇者目指す相撲の鬼も豆をまき	②節分
1805	五十嵐　進	鬼は外更に言いたい老いも外	②節分
1806	ガラ系	真実の口をみそぎにフルムーン	①真実の口
1807	ガラ系	真実の酸いも甘いもかみ分ける	①真実の口
1808	ガラ系	ほころびる世界地図縫う針となれ	③針供養
1809	ペースかめ	真実の口食べられると思ってた	①真実の口
1810	ペースかめ	鬼嫁に豆を火の玉ストレート	②節分
1811	ペースかめ	その恵方今年じゃなくて去年だよ	②節分
1812	深谷健	真実の口なんて名の傲慢さ	①真実の口
1813	深谷健	投げられた豆の気持ちになってみろ	②節分
1814	深谷健	針供養に行くと聞かない父を追う	③針供養
1815	さくら貝	節分とモテるためにもまめ大事	②節分
1816	さくら貝	ネガティブを嫌った母の針供養	③針供養
1817	さくら貝	モデル追うスタイリストの針供養	③針供養
1818	西安　宙	嘘ついて真実の口手を入れた	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1819	西安　宙	節分は鬼嫁と食う恵方巻	②節分
1820	西安　宙	節分に豆を蒔く数少なすぎ	②節分
1821	ザ・落花生	世の中に鬼が多すぎ豆足らず	②節分
1822	やーくん	口のなか刺丸くする人の情	①真実の口
1823	やーくん	能登地震災い転じて福となせ	②節分
1824	やーくん	昔日の恩を敬う針供養	③針供養
1825	四季桜	作りましょう真実の口自民党	①真実の口
1826	四季桜	節分に鬼とインフレ追い払え	②節分
1827	四季桜	裏金と五輪汚職の鬼退治	②節分
1828	でこぽん	恵方巻方向分からず上を向く	②節分
1829	でこぽん	孫の撒く豆は全てが口の中	②節分
1830	でこぽん	鬼の面妻が付ければ良く似合う	②節分
1831	光風雫	かわいそう孫に泣かれて鬼もうち	②節分
1832	光風雫	千本を夫に飲ませて針供養	③針供養
1833	光風雫	真実の口も騙していたタブー	①真実の口
1834	髙橋安房	さみしくて通話メモ聞く大晦日	①真実の口
1835	髙橋安房	波の背に踊る若者カゼひくな	①真実の口
1836	髙橋安房	付き添いが主より辛い病です	①真実の口
1837	森　俊敬	鬼は内鬼も一緒に仲間入り	②節分
1838	森　俊敬	嘘はなあ自分が見てる神様も	①真実の口
1839	森　俊敬	針供養ふせたズボンも飾らせて	③針供養
1840	三木首相	多弁家が裏金聞かれ口閉ざす	①真実の口
1841	三木首相	鬼は外言える平和に感謝の日	②節分
1842	三木首相	針供養既製服増え寺社行事	③針供養
1843	かばくんのかば	孫の手に平和を願う豆あふれ	②節分
1844	かばくんのかば	爺ちゃんはアーバンベアと鬼の役	②節分
1845	かばくんのかば	4年ぶり長寿の祖母が針供養	③針供養
1846	今井純生	針供養釣り針もしたでも坊主	③針供養
1847	今井純生	くじ引きで赤鬼だけは５年妻	②節分
1848	今井純生	神様も手相占いしてるかも	①真実の口
1849	桃太郎	歳重ね感謝と労い針供養	③針供養
1850	桃太郎	針供養挫折の頬に紅がさす	③針供養
1851	桃太郎	福は内いつも寄り添う妻がいる	②節分
1852	石川　涼乃	試せない理由はアレか？女の勘	①真実の口
1853	石川　涼乃	豪速球豆の投げ方センスあり	②節分
1854	石川　涼乃	歴史あり曲がった針と私の腰	③針供養
1855	加代ちゃん	針供養言わず一合足して飲む	③針供養
1856	加代ちゃん	針供養楽しみがありまだ女	③針供養
1857	加代ちゃん	鬼は外鬼は誰かと孫が問う	②節分
1858	小島富雄	豆まけどいつの時代に福は来る	②節分
1859	小島富雄	金をまき歳の数だけ人を食う	②節分
1860	小島富雄	国会も節分行事鬼は外	②節分
1861	タケミたけし	真実は口に苦いし荷も重い	①真実の口
1862	タケミたけし	節分に戦争辞して福よ来い	②節分
1863	タケミたけし	演芸で心の張りを供養する	③針供養
1864	真実一路	コンパスの出番をアシスト恵方巻	②節分
1865	真実一路	真実の口はもともとアレの蓋	①真実の口
1866	真実一路	手を入れぬ亭主に深まる疑惑の目	①真実の口
1867	関白殿下	福は内以外は言わず豆をまき	②節分
1868	関白殿下	豆握りまいた振りして口に入れ	②節分
1869	関白殿下	絹木綿癒した後は酌の摘ま	③針供養
1870	吉本具視	福は内鬼嫁私どこへ行く	②節分
1871	吉本具視	手を入れて自分は何か問うあなた	①真実の口
1872	あんどらごら	政治家の手を噛んでいる石の顔	①真実の口
1873	あんどらごら	鬼は外豆まく妻が鬼みたい	②節分
1874	あんどらごら	お豆腐が痛いと叫ぶ針供養	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1875	栄	念のため左手浅く入れてみる	①真実の口
1876	栄	祓われた鬼が集まるバーがある	②節分
1877	栄	まち針を刺して誇らし気な豆腐	③針供養
1878	岡田千賀子	鬼の首取ったようだと減らず口	②節分
1879	岡田千賀子	正直に言ったはずだが嫌われる	①真実の口
1880	岡田千賀子	糸通し使いながらの針供養	③針供養
1881	石川明世	節分の豆落ちてから食すヤギ	②節分
1882	中田 マキ子	政治家を真実の口裁きます	①真実の口
1883	中田 マキ子	節分の鬼がんばると被災地へ	②節分
1884	中田 マキ子	時は今針供養する人も減り	③針供養
1885	知多の海人	言い訳の迷路出られぬ午前様	①真実の口
1886	知多の海人	外カラス内飲んべーの豆鉄砲	②節分
1887	知多の海人	針と糸夫婦繕う針と糸	③針供養
1888	くにたろう	罪滅ぼしするのだ鬼よ被災地へ	②節分
1889	くにたろう	行かないで鬼さんここへ過疎の村	②節分
1890	くにたろう	細やかさ無造作混じる針供養	②節分
1891	文松	建前の大人になると入れにくい	①真実の口
1892	文松	全力で投げる息子は鬼の顔	②節分
1893	文松	ありがとう豆腐で休んで針供養	③針供養
1894	青葉乃翁	傘寿でもいただく豆は八歳児	②節分
1895	青葉乃翁	ワンと吠え鬼を追い出すマイドッグ	②節分
1896	青葉乃翁	亡き母へ感謝深める針供養	③針供養
1897	河西　博子	ローマにて立候補する前に調べてネ	①真実の口
1898	河西　博子	豆まきは掃除してから拾いましょう	②節分
1899	河西　博子	議員さんたくさん持ってる真実の口	①真実の口
1900	下村　修	開いた口塞がるほどの嘘が無い	①真実の口
1901	下村　修	残業で出番なくなるウチの鬼	②節分
1902	下村　修	こんにゃくかとうふで揉めて針の山	③針供養
1903	キボウノキ	噛む度にエタノール味の時代去り	①真実の口
1904	石笑	節分にお面はいらぬわが亭主	②節分
1905	石笑	節分で鬼嫁退治また出来ず	②節分
1906	石笑	湯豆腐と縁が切れない針供養	③針供養
1907	さごじょう	追いだせぬ人の心の中の鬼	②節分
1908	さごじょう	噛まれないようにお札を手に持って	①真実の口
1909	さごじょう	ギャラリーの梅も見守る針供養	③針供養
1910	宮ちゃん	真実の口から嘘を吐く輩	①真実の口
1911	宮ちゃん	まち針の色多様なる針供養	③針供養
1912	宮ちゃん	こんにゃくに曲がった過去を刺した夢	③針供養
1913	白石　静次	針いくつ刺され豆腐の身の辛さ	③針供養
1914	白石　静次	休日のローマを偲ぶ神の口	①真実の口
1915	白石　静次	赤鬼の悲鳴にどこか聞き覚え	②節分
1916	草道久幸	人の生偽りだらけ手は入れぬ	①真実の口
1917	草道久幸	手を入れる政治家いるかいてほしい	①真実の口
1918	草道久幸	暴かれぬ真実いつも口の奥	①真実の口
1919	ノーリー	捨てられきワクチンあまた針供養	③針供養
1920	沙緒翁	政治家は真実の口手を隠し	①真実の口
1921	沙緒翁	年一度優しいパパも鬼になる	②節分
1922	沙緒翁	退職日湯豆腐食べて俺供養	③針供養
1923	道草詩人	鬼の役ふるまい酒に虎となり	②節分
1924	テクノボー	真実の口も呆れる偽情報	①真実の口
1925	テクノボー	初競りのマグロの針の供養代	③針供養
1926	テクノボー	七本のワクチン針を針供養	③針供養
1927	かなぶんた	ローマへは万愚節しか行けないな	①真実の口
1928	かなぶんた	食守り豆は投げずに鰯食べ	②節分
1929	かなぶんた	ワクチンでいつもお世話になってます	③針供養
1930	宍戸晴礼	嘘ついて入れたら終わり妻の口	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1931	宍戸晴礼	福は内掃除気にしてそっと投げ	②節分
1932	宍戸晴礼	気遣って鬼にもあるよ多様性	②節分
1933	やじろべー	食卓にコンパス置いて恵方巻	②節分
1934	やじろべー	手加減し豆をぶつける子に育ち	②節分
1935	やじろべー	釣り針を太公望が供養する	③針供養
1936	尊Ｍ	丹羽（にわ）さんの節分声出しおに一外	②節分
1937	尊Ｍ	針仕事得意な母も針供養	③針供養
1938	尊Ｍ	鬼の役なぜか孫はジジがいい	②節分
1939	かめきち	ワクチンの方が持ってたきく力（ちから）	①真実の口
1940	かめきち	好きですと言っちゃいそうな夕月夜	①真実の口
1941	かめきち	最後まで追い詰めないで共白髪	①真実の口
1942	東海林直	間違いも絶対捲る妻の口	①真実の口
1943	東海林直	争奪戦始まる豆撒きヒトとハト	②節分
1944	東海林直	赤い糸縫っては合わせ金婚式	③針供養
1945	ルーキー	真実の口で安倍派が仕分けられ	①真実の口
1946	ルーキー	鬼役が動画学ぶ鬼の所作	②節分
1947	ルーキー	何気なく懺悔もしてる針供養	③針供養
1948	豆風	供養するこころ忘れて針の山	③針供養
1949	豆風	鬼の目に涙が浮かぶ能登地震	②節分
1950	豆風	リニアから千々に乱れる富士のくに	①真実の口
1951	おさぼう	妻よりもましに思えた鬼の面	②節分
1952	鶴の長命	縮んだと箪笥の肥し嘆く妻	①真実の口
1953	鶴の長命	呆けてない何度も言ってるお爺さん	①真実の口
1954	鶴の長命	酒臭い息で残業したと告げ	①真実の口
1955	鴨志田祐一	二十年も使わぬ針を供養する	③針供養
1956	鴨志田祐一	二十年前の授業の針供養	③針供養
1957	鴨志田祐一	その口があったら悪事全て消え	①真実の口
1958	ふみあと７０代	錆び付いた3本の矢も針供養	③針供養
1959	ふみあと７０代	児に泣かれ面着けたまま親も泣き	②節分
1960	ふみあと７０代	父ちゃんと飲みっぷり似た鬼を見た	②節分
1961	わーさん	鬼は家（うち）福は外でも春は来る	②節分
1962	わーさん	孫が言うきのうUFOが飛んでいた	①真実の口
1963	わーさん	針は無いミシンも無いけど針供養	③針供養
1964	山田明	外じゃなく鬼は心の内に住む	②節分
1965	山田明	鬼の役昔はパパで今はママ	②節分
1966	山田明	真実を口外すれば村八分	①真実の口
1967	アキラ	赤鬼が真実知って欠捲る	②節分
1968	アキラ	嘘つきが真実の口手を入れる	①真実の口
1969	アキラ	鬼は外福は家だけ独り占め	②節分
1970	七夕ぜん哉	餌あげるフリした右手噛みつかれ	①真実の口
1971	七夕ぜん哉	「鬼は父（とと）」憎し愛しで投げる豆	②節分
1972	七夕ぜん哉	曲がっても折れても供養せず生きる	③針供養
1973	アキラ	針山にお礼を込めて針を刺す	③針供養
1974	アキラ	生きるには嘘をついても誠なり	①真実の口
1975	アキラ	悪きこと嘘をつきすぎ戯れ事に	①真実の口
1976	舟木公一	犬散歩右往左往の節分日	②節分
1977	舟木公一	恵方巻南を向いて取り敢えず	②節分
1978	舟木公一	節分豆八個で済ます傘寿なり	②節分
1979	まるちB	寒いけど春の兆しか節分は	②節分
1980	関根　一雄	真実の口は見ぬフリすねに傷	①真実の口
1981	関根　一雄	鬼嫁に豆はきかない耐えに耐え	②節分
1982	関根　一雄	針供養民を助けた注射針	③針供養
1983	勝井良共	好きですと書いた背中に湿布貼る	①真実の口
1984	石川　想	鬼は外被災者招いて元気づけ	②節分
1985	みく	嘘をつき王女と記者は手を口に	①真実の口
1986	みく	絨毯の下から豆が顔を出し	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
1987	みく	毒針の毒を拭き取り針供養	③針供養
1988	たちあおい	鬼だって囓ってみたい恵方巻き	②節分
1989	たちあおい	この日だけ超満員の鬼が島	②節分
1990	たちあおい	こわごわと手を入れ愛を食べさせる	①真実の口
1991	宮尾美明	嘘平気真実の口なぜ曲がる	①真実の口
1992	宮尾美明	福の神鬼もおいでよ差別駄目	②節分
1993	宮尾美明	最近じゃ使わないまま供養され	③針供養
1994	平島卓夫	真実の口もあんぐり俗世間	①真実の口
1995	平島卓夫	節分の豆噛みしめて鬼となる	②節分
1996	平島卓夫	裁縫が大の苦手の針供養	③針供養
1997	平島卓夫	真実の口には目あり鼻もあり	①真実の口
1998	平島卓夫	鬼役でもめる我が家の節分会	②節分
1999	平島卓夫	乾燥の真実の口リップ塗り	①真実の口
2000	平島卓夫	節分の鬼と仲良く恵方巻	②節分
2001	藍蚕	笑顔見せ真実の口舌を出す	①真実の口
2002	藍蚕	代議士に真実の口解放し	①真実の口
2003	藍蚕	節分に豆もふやかし心の灯	②節分
2004	明日勝	その記憶今年じゃないよ去年だよ	①真実の口
2005	明日勝	政治家と詐欺師の知恵は紙一重	①真実の口
2006	明日勝	恵方巻好みの向きを吉方に	②節分
2007	石川　昇	福持って来る鬼いたり浅草は	②節分
2008	石川　昇	節分の鬼浅草で虎になる	②節分
2009	石川　昇	節分で豆撒く彼女鬼になり	②節分
2010	ふわりねこ	アマビエがワクチン接種の針供養	③針供養
2011	ふわりねこ	真実の口が塞がる袖の下	①真実の口
2012	ふわりねこ	鬼のよなゴジラは稼ぐ福の神	②節分
2013	佐藤　憲夫	真実を躊躇している癌告知	①真実の口
2014	佐藤　憲夫	福豆を撒き日常が欲しいだけ	②節分
2015	佐藤　憲夫	再起へのヒントを探し針供養	③針供養
2016	横手敏夫	豆拾いルンバに任せ福は内	②節分
2017	横手敏夫	答弁に真実の口あれば良い	①真実の口
2018	横手敏夫	節分はルンバ活躍豆拾い	②節分
2019	はなはな	亡き母へ労い込める針供養	③針供養
2020	はなはな	小さな手涙堪えて豆握る	②節分
2021	はなはな	いじらしい豆握る手のへの字口	②節分
2022	石塚瑞貴	お菓子とり兄弟喧嘩母鬼に	②節分
2023	石塚瑞貴	鬼の母まめよりダイヤにっこりと	②節分
2024	石塚瑞貴	亡き祖父の鬼のお面で泣きじゃくる	②節分
2025	巣戸一句	手が抜けぬ！「ローマの休日」ここが好き	①真実の口
2026	巣戸一句	レプリカ置く商店街の意気高し	①真実の口
2027	巣戸一句	ヒチコック好き恵方はいつも北北西	②節分
2028	やまやま	妻強いる手入れろ！ほらっ！真実の口	①真実の口
2029	やまやま	節分や豆投げられて締め出され	
2030	やまやま	ハリセンボン膨らませてる針供養	
2031	工藤凜平	怯えつつジェットタオルに手を入れる	①真実の口
2032	工藤凜平	手を入れる真実の口免罪符	①真実の口
2033	工藤凜平	横で寝る真実の口いびきかき	①真実の口
2034	工藤　杞憂	うそじゃないホントに会いたいヘプバーン	①真実の口
2035	工藤　杞憂	真実の口で試したい方がいる	①真実の口
2036	工藤　杞憂	真実の口に分かるかＡＩが	①真実の口
2037	とぶチャン	細い針布と戦い勝利する	③針供養
2038	とぶチャン	お針様寿命長持ち手を合わせ	③針供養
2039	井上　忠和	豆まきは気持ちをこめて鬼嫁へ	②節分
2040	井上　忠和	鬼よりも怖い嫁さん家にいる	②節分
2041	井上　忠和	鬼向けて豆まいたのは鬼嫁だ	②節分
2042	岩田茂樹	政治家の真実の口何処へやら	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2043	岩田茂樹	保育園我が子は休む節分日	②節分
2044	蛙屋　柳斎	豆腐こそいい迷惑だ針供養	③針供養
2045	蛙屋　柳斎	節分の区切りも見直し迫られる	②節分
2046	蛙屋　柳斎	真実を話して仲間外れです	①真実の口
2047	ぶんたん	鬼嫁に気を遣いつつ鬼は外	②節分
2048	ぶんたん	真実の口を置きたい議事堂に	①真実の口
2049	ぶんたん	母娘（おやこ)共ホチキス型の針供養	③針供養
2050	在星猫	国会に真実の口何故に無い	①真実の口
2051	在星猫	節分の分けが緩む温暖化	②節分
2052	在星猫	針供養木綿か絹か刺す豆腐	③針供養
2053	川崎圭子	議員の手入れてみたいな真実の口	①真実の口
2054	川崎圭子	豆まきの翌朝鳩が庭掃除	②節分
2055	川崎圭子	刺さないで豆腐の涙滲んでる	③針供養
2056	荒流戯亭卵白	内外に投げる我が子も二豆流	②節分
2057	荒流戯亭卵白	お疲れ様労い込めた白布団	③針供養
2058	荒流戯亭卵白	「白ウニだ！」言う孫の服縫った針	③針供養
2059	藤井　きょう	縫い直すことにも慣れて針供養	③針供養
2060	坪川　愛華	鬼願う豆の数より幸あれと	②節分
2061	おーさん	妻の背に小さな声で鬼は外	②節分
2062	おーさん	福は内孫の豆まき鬼も内	②節分
2063	おーさん	針仕事できない妻が針供養	③針供養
2064	鈴木利男	裏金を掴んだ財布逃げ回り	①真実の口
2065	鈴木利男	帳簿には嘘は書けぬと記載漏れ	①真実の口
2066	鈴木利男	福は内鬼は寒さで風邪をひき	②節分
2067		東北東昔は方位磁石今はスマホ	②節分
2068		恵方巻き歳とともに太くなる	②節分
2069		鬼になる年に一回節分だけ	②節分
2070	たかすん	真実の口にいくつも舌がある	①真実の口
2071	たかすん	さびた針母の針箱さびしそう	③針供養
2072	たかすん	パパめがけ豆まく子らよ手を抜くな	②節分
2073	夏山詳治	鬼嫁は鬼の顔して豆をまく	②節分
2074	夏山詳治	八分目それでも多いまつりごと	①真実の口
2075	夏山詳治	お転婆な娘は母の手を握る	③針供養
2076	なで肩	待ち人はシガシにいると江戸弁で	①真実の口
2077	なで肩	真実の口は黙して語らずに	①真実の口
2078	なで肩	役不足適役の妻蒔く側に	②節分
2079	本宮わこ	豆まきで日々の鬱憤ママ晴らす	②節分
2080	本宮わこ	鬼は外家の中から皆消える	②節分
2081	本宮わこ	お豆腐もこの日ばかりは痛い目に	③針供養
2082	トラノ	白い嘘そっと飲み干す海の神	①真実の口
2083	トラノ	鬼役の父に甘い子猛る母	②節分
2084	トラノ	針供養滋養と慈愛持つ豆腐	③針供養
2085	ちゅんすけ	真実の口も時には二枚舌	①真実の口
2086	ちゅんすけ	豆をまく子らの瞳に濁りなし	②節分
2087	ちゅんすけ	母がまだ母だった日の穴かがり	③針供養
2088	小次郎	デカすぎて誰もできないディープキス	①真実の口
2089	小次郎	盛り付けでごまかす妻は惣菜派	①真実の口
2090	小次郎	鬼の面かぶらなくてもいける妻	②節分
2091	千船早帆	升に盛る大豆ほどなる銭の欲し	②節分
2092	千船早帆	鬼やらい鬼を逐う役逃げる役	②節分
2093	千船早帆	恵方巻きから成る塔や店の裏	②節分
2094	奥の寄道	議員さん真実の口へ裏金を	①真実の口
2095	奥の寄道	節分に投げる息子はスイーパー	②節分
2096	奥の寄道	チクチクと腹上死の夫針供養	③針供養
2097	mewsi521	「鬼は外」妻に向かって豆投げる	②節分
2098	mewsi521	真実の口にへそくり隠したい	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2099	mewsi521	腰痛の完治を祈る針供養	③針供養
2100	ゆうたんパパ	議事堂に世論一致で設置する	①真実の口
2101	ゆうたんパパ	1mmの誤差も許さずジャッジする	①真実の口
2102	ゆうたんパパ	方便は！？AIジャッジ悩ませる	①真実の口
2103	毛塚文憲	嘘をつくあなたに噛んで欲しいから	①真実の口
2104	毛塚文憲	不思議なり弱い魚が鬼払い	②節分
2105	加茂の橋	節分に間違えて針持って来た	②節分
2106	加茂の橋	針供養豆腐に刺してる人がいた	③針供養
2107	加茂の橋	節分寺コートのフード開けて待つ	②節分
2108	茶飯士	まだ寒い鬼も家でもいいだろう	②節分
2109	茶飯士	時代錯誤差別扱い怒る鬼	②節分
2110	茶飯士	口の奥どうも閻魔が隠れてる	①真実の口
2111	町子	いつぞやの豆がソファーの隙間から	②節分
2112	町子	拾う数考えまく豆減らす親	②節分
2113	町子	ウン十年豆まき福を待ちわびる	②節分
2114	つじまろ	信頼は真実の口物言う目	①真実の口
2115	つじまろ	我が家にはまめに豆食う鬼がいる	②節分
2116	つじまろ	今はなき母を想って針供養	③針供養
2117	清國　祐二	鬼嫁と長いつきあい同士なり	②節分
2118	清國　祐二	うそつきが泥棒ならば皆泥棒	①真実の口
2119	清國　祐二	うっぷんを晴らせとばかり嫁本気	②節分
2120	松下弘美	真実の口を据えたい永田町	①真実の口
2121	松下弘美	平等の令和の世には「鬼は内」	②節分
2122	松下弘美	終活にレコード処分針供養	③針供養
2123	ひぃちゃんママ	豆腐へと針刺す祖母に怯えてた	③針供養
2124	ひぃちゃんママ	豆まきが大豆に代わり落花生	②節分
2125	ひぃちゃんママ	節分を恵方巻の日甥が言う	②節分
2126	大和の雨蛙	鬼の面外せばパパと爺だった	②節分
2127	大和の雨蛙	大豆から令和の世では落花生	②節分
2128	大和の雨蛙	探せども針箱どこへ見当たらぬ	③針供養
2129		「福は内」「鬼も内」と撒く優しい子	②節分
2130	西本卓司	喋らずも人を動かす石の口	①真実の口
2131	西本卓司	極寒の外は鬼でも耐えられず	②節分
2132	西本卓司	福は内豆をまいてるここは家（うち）	②節分
2133	仁太郎	偽らず死出の旅路に見る景色	①真実の口
2134	仁太郎	嘘ついて真実の口塞ぐひと	①真実の口
2135	仁太郎	議事堂に真実の口飾る夢	①真実の口
2136	信夫仙山	邪気払い今年こそはと夢を追う	②節分
2137	信夫仙山	調和より正直になる俺は俺	①真実の口
2138	信夫仙山	ありがとう感謝を込めて送らせて	③針供養
2139	ふりふりバッグ	政治家に真実の口期待せず	①真実の口
2140	ふりふりバッグ	真実の口は託した影武者に	①真実の口
2141	ふりふりバッグ	豆まきの声に背を向け鬼逃げる	②節分
2142	月野ひろこ	コロナ明け供養以前に針休眠	③針供養
2143	月野ひろこ	議事堂に向かって放て豆つぶて	②節分
2144	月野ひろこ	官僚にとってワニより怖い口	①真実の口
2145	なし	鬼は外三角関係避けるため	②節分
2146	武士の香	浮気癖真実の口で懲らしめる	①真実の口
2147	武士の香	豆まきは鬼の面より妻の顔	②節分
2148	武士の香	鬼よりも退治すべきは物価高	②節分
2149	けーすけ	真実の口よ判じて政治家の	①真実の口
2150	けーすけ	撒く豆も動脈硬化で食用に	②節分
2151	けーすけ	隠退し感謝じゃ済まん家事奮闘	③針供養
2152	我が妻は最恐で最高	そのままでじゅうぶん鬼だよ言えんけど…	②節分
2153	さとはるママ2024	被災地の復興願って鬼は外！	②節分
2154	さとまる	食べる豆ついに二桁うれしいな	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2155	はるポチ	減るのヤダたった８つぶのたからもの	②節分
2156	風流士	最後には真実の口痴話喧嘩	①真実の口
2157	風流士	鬼嫁も追儺の鬼も二刀流	②節分
2158	風流士	華燭後も母と娘や針供養	③針供養
2159	麻呂	寒いから鬼もおうちに入れてやろ	②節分
2160	友ちゃん	欲しいのは議事堂にに真実の口	①真実の口
2161	友ちゃん	豆をまく孫の笑顔が福を呼ぶ	②節分
2162	友ちゃん	福は内お掃除ロボがついて来る	②節分
2163	ヒット	コンビニが無くても楽し昭和かな	①真実の口
2164	大藤　雅子	胸に手を真実の口さて如何に	①真実の口
2165	大藤　雅子	鬼は外鳩園庭でポッポッポ	②節分
2166	大藤　雅子	小町針花咲く豆腐針供養	③針供養
2167	詩多心	針供養下仁田行けば芋供養	③針供養
2168	詩多心	節分に鬼が風邪ひく幼稚園	②節分
2169	詩多心	昔からエアータオルもイタリア製	①真実の口
2170	うじまっちゃん	鬼はうち妻に聞かれてぞっとする	②節分
2171	うじまっちゃん	豆食べる妻は毎年17個	②節分
2172	木村隆夫	お針子の死語となりゆく針供養	③針供養
2173	木村隆夫	裁縫に生きる覚悟の針供養	③針供養
2174	木村隆夫	音を上げず値上げラッシュに耐えてゆく	①真実の口
2175	ぱたこ	手を入れる子を驚かし嫌われる	①真実の口
2176	ぱたこ	真実の口は幼子歳ばらす	①真実の口
2177	ぱたこ	ローマより近場でなりきるヘプバーン	①真実の口
2178	まこっちゃん	真実の口は休業四月馬鹿	①真実の口
2179	まこっちゃん	男性の参加が増えた針供養	③針供養
2180	まこっちゃん	豆が飛び鬼が顔出すテレワーク	②節分
2181	吉　哉郎	妻の口真実と虚偽使い分け	①真実の口
2182	吉　哉郎	鬼と福外だ内だと忙しなく	②節分
2183	吉　哉郎	針仕事供養するほど張り切らず	③針供養
2184	やんちゃん	婆ちゃんが和裁の師匠針供養	③針供養
2185	やんちゃん	針供養夫婦の綻び縫い合わせ	③針供養
2186	やんちゃん	恵方巻しゃべると福が逃げちゃうよ	②節分
2187	木村成子	真実は何かと問うて手を入れる	①真実の口
2188	木村成子	季節分け春を待ってる戦場地	②節分
2189	木村成子	母の手が重なっている針供養	③針供養
2190	木本陽子	嘘ついた正直に言い手を入れる	①真実の口
2191	木本陽子	数えるも食べるも苦痛豆の数	②節分
2192	木本陽子	供養する針もないほど不器用で	③針供養
2193	石井　周子（いしい　ちかこ）	鬼は外本当に痛いと泣く父よ	②節分
2194	石井　周子（いしい　ちかこ）	柊を飾らぬドアが並ぶ街	②節分
2195	石井　周子（いしい　ちかこ）	節分豆たんすの裏で冬を越す	②節分
2196	晴耕雨読	こっそりと帰った鬼が孫と風呂	②節分
2197	晴耕雨読	年の数節分の豆腹下し	②節分
2198	晴耕雨読	思い切り母愛用の針供養	③針供養
2199	穂苅　敏	ローマにて密を避けてる視察団	①真実の口
2200	穂苅　敏	四年ぶり声出し豆をまく子供	②節分
2201	穂苅　敏	真っ直ぐに生きて卒寿の針と腰	③針供養
2202	こっこ	歳＋１数え忘れる美味な福	②節分
2203	こっこ	役目終えつい踏んだ豆ちと悲し	②節分
2204	こっこ	恵方巻き方角違えただのご飯	②節分
2205	サンムーン	真実の口に入れたい議員の手	①真実の口
2206	サンムーン	寿司食べた？恵方食べたが寿司はまだ	②節分
2207	サンムーン	糠にクギ豆腐に針の二刀流	③針供養
2208	しお爺	丸かぶり恵方間違い福苦笑	②節分
2209	しお爺	直ぐ造れ真実の口国会に	①真実の口
2210	しお爺	注射針コロナ貢献供養せにゃ	③針供養

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2211	章香堂	真実の口より怖い妻の勘	①真実の口
2212	章香堂	政治家が手を入れるべき口がある	①真実の口
2213	章香堂	孫ができ子へと授けし鬼の面	②節分
2214	黒須敏夫	信じない心の弱さいつも負け	①真実の口
2215	黒須敏夫	節分に後の掃除を考える	②節分
2216	黒須敏夫	針供養豆腐屋つぶれ侘しさが	③針供養
2217	とらちゃん	真実の口に怯える浮気者	①真実の口
2218	あべっち	鬼よりも外に出したいあなたです	②節分
2219	あべっち	せつぶんを孫はせっぷんと読み違い	②節分
2220	あべっち	わが亭主マメになれよと豆ぶつけ	②節分
2221	川崎真潔	ヘプバーンに会える気がするビューホテル	①真実の口
2222	川崎真潔	国会の入り口にAREつけてくれ	①真実の口
2223	川崎真潔	コンビニの戦略なのか恵方巻	②節分
2224	申春	議員の手真実口に入れたいな	①真実の口
2225	申春	福はガザ鬼はその外イスラエル	②節分
2226	申春	鬼は外露にはベルラーシ内の仲間	②節分
2227	大谷千恵子	福は内福は内鬼はいないと平和主義	②節分
2228	大谷千恵子	福豆も小袋で撒きエコロジー	②節分
2229	大谷千恵子	子へ虐待鬼棲む親に豆を撒く	②節分
2230	せみさん	お忍びの姫を模す母演技過剰	①真実の口
2231	せみさん	ミシン針また折れこころもっと折れ	③針供養
2232	せみさん	園長はサンタさんから鬼の面	②節分
2233	鈴木貴子	正直にアレ食ったよと言っただけ	①真実の口
2234	鈴木貴子	針供養知らぬ娘のパチクリ目	③針供養
2235	鈴木貴子	仏壇の母が一番ほっとする	③針供養
2236	うなぎ	ワクチンの針供養して脱コロナ	③針供養
2237	角田　謙二	ダイエット宣言したのはどの口だ	①真実の口
2238	角田　謙二	禁煙を誓ったはずはどの口だ	①真実の口
2239	角田　謙二	国会に設置を求む真実の口	①真実の口
2240	龍　千蔵	「成田屋！」のかけ声響く福の枡	②節分
2241	龍　千蔵	袴はき豆をまきたいあの舞台	②節分
2242	龍　千蔵	春近し邪気を払って福は内	②節分
2243		君の為歯をつけたんだ真実の口	①真実の口
2244		君が鬼不満の数だけ豆ぶつけ	②節分
2245		私、針筵の君に供養乞う	③針供養
2246	一寸楽	「おもてなし」裏ばかりの世手を入れて	①真実の口
2247	一寸楽	鬼は外ガチで妻から飛んでくる	②節分
2248	一寸楽	供養する昔針、今ホッチキス	③針供養
2249		君の為歯をつけてみた真実の口	①真実の口
2250		君が鬼不満の数だけ豆ぶつけ	②節分
2251		私、針筵の貴方に供養乞う	③針供養
2252	芳爺	場所を見て人見て語る二枚舌	①真実の口
2253	芳爺	真実は話す口ほど数がある	①真実の口
2254	芳爺	真実を語って干される闇企業	①真実の口
2255	井内雅仁	物価高豆にも及び鬼笑う	②節分
2256	井内雅仁	重い口やっと開いて全て吐く	①真実の口
2257	井内雅仁	裁縫の母の思い出針供養	③針供養
2258	辛童	マメに撃つ文春砲の鬼退治	②節分
2259	辛童	銃弾が豆に換われば外も福	②節分
2260	辛童	裏金の手口掴まれ痛い蹴り	①真実の口
2261	春蚊秋冬	恵方どこ？探して食べる恵方巻	②節分
2262	春蚊秋冬	豆みたく外にばら撒くわが政府	②節分
2263	中川幸代	わたくしの内なる鬼に豆をまく	②節分
2264	杏子	母送り実家じまいの針供養	③針供養
2265	杏子	曖昧な記憶の中に針供養	③針供養
2266	多摩川二郎	真実か？キックとバックを見極める	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2267	笠井　伊佐夫	節分の晩酌豆を食べつくす	②節分
2268	笠井　伊佐夫	声出して何か真実話してよ	①真実の口
2269	笠井　伊佐夫	使ってない針を出して供養する	③針供養
2270	せちい	手がなけりゃフェイクニュースも流せまい	①真実の口
2271	せちい	恵方巻鬼もあきれる売れ残り	②節分
2272	せちい	ミサイルを外から飛ばす鬼がいいる	②節分
2273	内藤春美	歳の数三十路超えから食べれない	②節分
2274	内藤春美	タンス裏いつかの豆を見つけたり	②節分
2275	内藤春美	遠慮した声で撒きます密集地	②節分
2276	糖質無制限	繕ってくれたあなたにありがとう	③針供養
2277	糖質無制限	見守ってくれる恋路と演技力	①真実の口
2278	糖質無制限	父親に本気で投げる鬼は外	②節分
2279	減点パパ	お多福を般若に変える朝帰り	②節分
2280	減点パパ	消費税内と外あって鬼どっち	②節分
2281	減点パパ	特殊詐欺渡る世間は鬼ばかり	②節分
2282	柳	話したいけれど映画を観てからね	①真実の口
2283	柳	撒いたなら拾って食べる鬼退治	②節分
2284	悦	偽りを見透かされてる恐怖心	①真実の口
2285	悦	復興を切に願って恵方巻	②節分
2286	悦	コンニャクの針治療かと見紛って	③針供養
2287	山宗雲水	真実の口が食レポ断られ	①真実の口
2288	山宗雲水	節分にまく豆がある有難さ	②節分
2289	山宗雲水	針供養終えてはじめて母の顔	③針供養
2290	団滋	政治家は真実の口を知らぬふり	①真実の口
2291	団滋	節分で父は逃げて豆拾い	②節分
2292	団滋	手伝うよ孫が祖父母の豆を喰い	②節分
2293	和田真也	真実もAI音声スマホから	①真実の口
2294	ｓｏｊｉ	真実の口の横ではせぬ会見	①真実の口
2295	ｓｏｊｉ	鬼の面外して見せた鬼メイク	②節分
2296	ｓｏｊｉ	針供養針を抜いたら豆腐供養	③針供養
2297	中潟小屋子	やっと来た日頃の鬱憤思い知れ	②節分
2298	中潟小屋子	やっと来た日頃の鬱憤晴らす時	②節分
2299	中潟小屋子	気兼ねなく親に豆を投げつける	②節分
2300	矢入榮留	鬼面の我にじゃれつく犬いとし	②節分
2301	矢入榮留	爛々と豆撒きの先見つむ猫	②節分
2302	河西　智子	国会においたらかみすぎあごつかれ	①真実の口
2303	河西　智子	さばよんだ年の数だけ豆を食べ	②節分
2304	河西　智子	針供養まぜてほしいと糸が言い	③針供養
2305	ヒメ父	鬼であり福神である古女房	②節分
2306	ヒメ父	お針箱残して母は大往生	③針供養
2307	ヒメ父	政治家は指も入れない真実の口	①真実の口
2308	かわかつ	真実を言えば家まで燃やされる	①真実の口
2309	かわかつ	咬まれても嘘つき通す議員たち	①真実の口
2310	傀儡師	豆を播く拾う食べる分に節	②節分
2311	傀儡師	内心は鬼の母ちゃん外願う	②節分
2312	傀儡師	派閥では真実の口裏で開く	①真実の口
2313	佐藤久美子	ただいま、と玄関開けたら「鬼は外！」	②節分
2314	佐藤久美子	穴見つけ針を取り出す母の背中	③針供養
2315	佐藤久美子	ガチャかもよ無邪気にはしゃぐ子どもたち	①真実の口
2316	宮のふみ	本当は抜けないはずのわが手首	①真実の口
2317	宮のふみ	この針と一緒に塗った子の浴衣	③針供養
2318	宮のふみ	年の数取れば空っぽ豆の枡	②節分
2319	春風	鬼は外知らぬ間に鬼の役	②節分
2320	春風	へそくりを見つけてわかる妻の方便	①真実の口
2321		豆を撒く鬼よりも怖いボスの顔	②節分
2322		節分夜豆も喜ぶおでん鍋	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2323		鬼ごっこ豆の追跡子が笑う	②節分
2324	お酢	がま口で真実隠す自民党	①真実の口
2325	お酢	手が抜けず足も抜けない派閥金	①真実の口
2326	お酢	能登の鬼人のマメさで立ち向かう	②節分
2327	金子鋭人	針刺され豆腐に罪はないけれど	③針供養
2328	金子鋭人	釣り針を経て縫い針の針供養	③針供養
2329	金子鋭人	待ち針の色と梅の香針供養	③針供養
2330	風信子	ワクチンの針にもしたい針供養	③針供養
2331	風信子	真実の口ぬけぬけと差し出す手	①真実の口
2332	風信子	休まぬと針千本よ針供養	③針供養
2333	kensona	手を入れろ！裏金疑惑議員達	①真実の口
2334	kensona	「豆」じゃなく「金(カネ)」を撒くのが派閥流	②節分
2335	kensona	豆腐にもやさしく刺してリスペクト	③針供養
2336	翠香	真実の口よジャッジは誰がする	①真実の口
2337	翠香	部屋ごとにそうじ機抱え鬼は外	②節分
2338	佐々木伸夫	真実も嘘を言うのも同じ口	①真実の口
2339	佐々木伸夫	孫の為じいさんスマホで鬼になり	②節分
2340	佐々木伸夫	裁縫をする人少なくハリが無い	③針供養
2341	翠香	会見は口に張られたガムテープ	①真実の口
2342	宮本朝陽香	皆同じアルコール味している手	①真実の口
2343	宮本朝陽香	歳の数豆食べた顔ハムスター	②節分
2344	宮本朝陽香	鍼治療無料体験する豆腐	③針供養
2345	白優	候補者は真実の口避けて行き	①真実の口
2346	白優	今年から福茶を飲んで恵方巻	②節分
2347	白優	孫連れて刺抜きの針供養する	③針供養
2348	はるやす	パパが鬼本気の豆に鬼のパパ	②節分
2349	はるやす	子の成長服並べ針役目終え	③針供養
2350	はるやす	真実の口はうちでは妻の口	
2351	mako	お互いに鬼と思っているウと露	②節分
2352	mako	年の数食べてた父の七回忌	②節分
2353	mako	双方が鬼は相手と投げる豆	②節分
2354	おむろ	浅草寺善男善女厄祓い	②節分
2355	おむろ	観音の前で鬼たちかしこまり	②節分
2356	おむろ	節分に観音さまと福は内	②節分
2357	鈴木　麻美	鬼役に力いっぱい豆を投げ	②節分
2358	鈴木　麻美	真実の口に怯える君一歳	①真実の口
2359	鈴木　麻美	針供養いつか行こうと針の山	③針供養
2360	たかちゃん	うちの妻口はひとつで愚痴は億	①真実の口
2361	たかちゃん	鉢巻の息子を拝む恵方巻き	②節分
2362	たかちゃん	針に糸通す奇跡にいとをかし	③針供養
2363	Akiki	手を出したオレオレに「その手は食わぬ」	①真実の口
2364	Akiki	置くべきは浅草よりも永田町	①真実の口
2365	Akiki	それぞれの昭和が刺さってる豆腐	③針供養
2366	直田拓	年明けて早くもPOPは恵方巻	②節分
2367	森下　貴史	その口に豆を入れたらバチ当たる	①真実の口
2368	森下　貴史	「マジメです」手が出せないのはなあぜなあぜ？	①真実の口
2369	原　誠	真実の口いくつある藪の中	①真実の口
2370	原　誠	鬼になりあの娘(こ)の豆に当たりたい	②節分
2371	渋谷　史恵	豆撒けど美食のポチはしらんぷり	②節分
2372	渋谷　史恵	針供養終えた豆腐を供養する	③針供養
2373	渋谷　史恵	真実の口もにっこりつばめの巣	①真実の口
2374	イルカの夢	真実を言えば会社に首切られ	①真実の口
2375	イルカの夢	多様性重んじるのに鬼は外	②節分
2376	イルカの夢	恵方にはご飯を願う人がいる	②節分
2377	高下保幸	アラサーがこっそり間引く豆の数	②節分
2378	高下保幸	美形にはそおっと豆まく年男	②節分

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2379		恵方巻き夫婦無言で願い込め	②節分
2380		豆まいて歳の数食べ胃が重く	②節分
2381		心沸く吉田神社の節分祭	②節分
2382	みなまる	パパ活躍鬼とサンタの二刀流	②節分
2383	みなまる	豆打って異動させたい鬼上司	②節分
2384	みなまる	豆を踏み転び転んで鬼の前	②節分
2385	蒼空	審判は真実の口閻魔様	①真実の口
2386	蒼空	真実に一つの嘘の隠し味	①真実の口
2387	蒼空	コロナ明け節分ができる鬼退治	②節分
2388	ころん	兜飾り値札に絶句初節句	②節分
2389	ころん	豆撒きはやれぬ祖母の名ソトなのだ	②節分
2390	ころん	鯉幟先ずはお隣りご挨拶	②節分
2391	漢方十七錠	真実の口に良心試される	①真実の口
2392	漢方十七錠	隠れてる心の鬼に豆をまく	②節分
2393	漢方十七錠	針供養される豆腐は針ネズミ	③針供養
2394	一粒のなおや	嘘つきを拘束！私人逮捕系	①真実の口
2395	一粒のなおや	鬼も内今や時代は多様性	②節分
2396	一粒のなおや	小さき針供養し願う世界平和	③針供養
2397	盟主クサイ	愛してる飲み込む嘘とマンホール	①真実の口
2398	盟主クサイ	鬼さんに豆をぶつけぬ令和の世	②節分
2399	盟主クサイ	縫い合わせ巡り逢わせにありがとう	③針供養
2400	遅れてきた猫☆	福豆を食べ切れなくてサバを読む	②節分
2401	遅れてきた猫☆	恵方巻トイレを向いて食べる父	②節分
2402	遅れてきた猫☆	地を揺らす鬼に向かって投げる豆	②節分
2403	きほ	鏡見て目尻のシワが物語る	①真実の口
2404	きほ	口が肥え落ちてる豆にそっぽ向き	②節分
2405	きほ	気が急いて指も供養の針仕事	③針供養
2406	ひねた猫	開いた口閉じる暇なく世を見つめ	①真実の口
2407	ひねた猫	物価高落花生にて福拾う	②節分
2408	ひねた猫	家庭よりタトゥー業者が増えたとか	③針供養
2409	本間孝男	真実を語る観光面白い	①真実の口
2410	本間孝男	父が言う鬼の格好辛すぎる…	②節分
2411	本間孝男	豆まきを楽しむ幼児見る老婆	②節分
2412	山本ひまり	鬼は外戦無くなれ地球から	②節分
2413	山本ひまり	コンニャクに花咲き誇る針供養	③針供養
2414	小田慶喜	俺だってヘップバーンを驚かせたい	①真実の口
2415	小田慶喜	大切な役ってどうせ鬼だから	②節分
2416	小田慶喜	本日の地獄針山は休み	③針供養
2417	閑古爺	真実の口で政治家試したい	①真実の口
2418	閑古爺	喧嘩して鬼役にされ締め出され	②節分
2419	閑古爺	供養する針そのものが今じゃ稀	③針供養
2420	七竈	真実の口コミ出来た台東区	①真実の口
2421	山茶花	穏やかな父もこの日は鬼になり	②節分
2422	山茶花	あれこれを胸に治めて豆を撒く	②節分
2423	山茶花	針供養終えてチクリと痛む胸	③針供養
2424	春蚊秋冬	真実の口に入れたい減らず口	①真実の口
2425	たかはふみと	開いた口ウソが多くてふさがらぬ	①真実の口
2426	たかはふみと	要注意用済みワクチン針供養	③針供養
2427	たかはふみと	鬼と福どこにいたんだ撒くまでは	②節分
2428	つちのこ	真実の口にチャックのハネムーン	①真実の口
2429	つちのこ	鬼の役お面なしでもイケる妻	②節分
2430	つちのこ	怖い妻針は優しく供養する	③針供養
2431	桃太郎飴	鬼は外差別はよくないコンプラ上	②節分
2432	桃太郎飴	鬼は外仲間外れはやめましょう	②節分
2433	桃太郎飴	鬼は外イジメはだめよこのご時世	②節分
2434	広海	イタリアと写真をアップ手を入れて	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2435	広海	鬼役が今日も残業仕事鬼	②節分
2436	広海	豆の数どんどん増えてちょっと減らし	②節分
2437	あ一無精	真実の口に愚痴った旅行代	①真実の口
2438	あ一無精	姑に心の中で鬼は外	②節分
2439	あ一無精	思い出を縫い合わせてる針供養	③針供養
2440	西城町子	反ヘイトダイバーシティで鬼救護	②節分
2441	西城町子	サーファーの技も覚ゆる針供養	③針供養
2442	西城町子	ひと針のひょう疽歯痒し針供養	③針供養
2443	原谷茂雄	手に手に真実の口大派閥	①真実の口
2444	原谷茂雄	世界中鬼しかいない節分会	②節分
2445	原谷茂雄	痛ぇなあ豆腐災難針供養	③針供養
2446	宮城 善秀	好物は口裏合わす派閥の手	①真実の口
2447	宮城 善秀	派閥にてまめに継がれし福は裏	②節分
2448	宮城 善秀	産着から仏衣も縫いし針に礼	③針供養
2449	朝山ひでこ	真実はアレやコレやで口にせず	①真実の口
2450	朝山ひでこ	園庭で可愛い鬼が豆拾う	②節分
2451	朝山ひでこ	亡き母の背中を偲び針供養	③針供養
2452	せいま	お隣の追われた鬼と飲みに行き	②節分
2453	せいま	愛犬は撒かれた豆を食べ回り	②節分
2454	せいま	真実の口に厚顔ためらわず	①真実の口
2455	愛　植男	孫連れてお面持参の嫁がくる	②節分
2456	愛　植男	妻施設終の棲家と言えぬまま	①真実の口
2457	愛　植男	桃太郎たまにしましょう針供養	③針供養
2458	唯人	今年こそ鬼とタイジする節分	②節分
2459	唯人	二十四時夜食の豆と鬼タイジ	②節分
2460	唯人	隠し事無くとも入れぬぞ妻の口	①真実の口
2461	あけぽん	豆撒きも慎重に撒く物価高	②節分
2462	あけぽん	針供養母は待ち針俺ルアー	③針供養
2463	まーちゃん	針供養豆腐蒟蒻二刀流	③針供養
2464	まーちゃん	真実の口は知ってる離さない	①真実の口
2465	まーちゃん	恵方巻零れ椎茸昇り龍	②節分
2466	まここしゃん	真実の口に生えてる二枚舌	①真実の口
2467	まここしゃん	恵方とは君の笑顔が見れる方	②節分
2468	まここしゃん	針とともに古レコードも供養され	③針供養
2469	ビリケン真	浅草が東京都心中心地	①真実の口
2470	ビリケン真	鬼は外浅草追われ肩身狭	②節分
2471	ビリケン真	供養するほどに近年使われず	③針供養
2472	ヘミング舞衣ウエイ	真実の口から出せぬ派閥の手	①真実の口
2473	ヘミング舞衣ウエイ	議員らに豆を撒きたい気分です	②節分
2474	ヘミング舞衣ウエイ	恵方とはキックバックのあるところ	②節分
2475	月見風	政界のウソつきガブリと噛んでくれ	①真実の口
2476	月見風	年始め惨事に願う福は内	②節分
2477	月見風	洋裁の針はプリンに刺されたい	③針供養
2478	こゆきうさぎ	真実の口へと入れる内視鏡	①真実の口
2479	こゆきうさぎ	鬼嫁も豆を数えて食べている	②節分
2480	こゆきうさぎ	亡き祖母の縫いし着物と針供養	③針供養
2481	なし	五十路入り、上がらぬ腕に鍼供養	③針供養
2482	華杏	真実の口で詐欺師か確かめる	①真実の口
2483	華杏	恵方巻き平和の幸を噛みしめる	②節分
2484	華杏	母が逝き形見の針の供養する	③針供養
2485	城野　江輝	手作りは重いと言われ針供養	③針供養
2486	城野　江輝	永遠の二十歳言いつつ豆五十	②節分
2487	城野　江輝	念の為指紋登録じゃない腕	①真実の口
2488	フクラギ	曾孫来て不思議な顔で針供養	③針供養
2489	加古　ゆき子	真実の口に話すな口止め料	①真実の口
2490	加古　ゆき子	真実の口より前にネタバラシ	①真実の口

No.	氏名もしくは柳号	作品	テーマ
2491	加古　ゆき子	針供養豆腐変身ハリネズミ	③針供養
2492	民　興次	真実の口嘯いて嘘の口	①真実の口
2493	民　興次	針もたぬ妻に無縁の針供養	③針供養
2494	民　興次	まち針が恋の思い出針供養	③針供養
2495	紅紫あやめ	すっぽりと手のひら飲まれ嘘つきと	①真実の口
2496	紅紫あやめ	節分に鬼嫁外へ出し昼寝	②節分
2497	紅紫あやめ	鬼役を本気で殴る子ども達	②節分
2498	吉村みどり	からからと掃除機鳴らす豆ひとつ	②節分
2499	吉村みどり	一周忌爪先かがる母の針	③針供養
2500	白鳥雅敏	鬼の面はずした途端孫が泣き	②節分
2501	白鳥雅敏	全身を噛まれ血だるま週刊誌	①真実の口
2502	白鳥雅敏	全身を噛まれ引退週刊誌	①真実の口
2503	めんだこ	真実の口をつけたい国会に	①真実の口
2504	めんだこ	節分に鬼が汗かく温暖化	②節分
2505	めんだこ	針供養まち針映えとZ世代	③針供養
2506	民　恵子	国会に真実の口ありぬべし	①真実の口
2507	民　恵子	まち針の色を揃えて針供養	③針供養
2508	民　恵子	玉色が思い出させる針供養	③針供養
2509		真実の口に誓って愛してる	①真実の口
2510	まこもじゃる	手を入れる真実の口かおみくじか	①真実の口
2511	まこもじゃる	祖母の背を見て思い立つ針供養	③針供養
2512	内山　田穂子	バーチャルで鬼退治する令和の子	②節分
2513	内山　田穂子	鬼の面昔手作り今加工	②節分
2514	内山　田穂子	恵方巻きモアイのごとく同じ向き	②節分
2515	いそのっぺ	ご近所に気遣いそっと豆をまく	②節分
2516	いそのっぺ	学校でそこまで言うな家のこと	①真実の口
2517	いそのっぺ	片付けを考え豆は袋入り	②節分
2518	方位磁石	母米寿豆食べる時十歳に	②節分
2519	方位磁石	嘘言えぬ白の豆腐が針を飲む	③針供養
2520	すずらん	真実の口に賄賂の甘い蜜	①真実の口
2521	すずらん	不器用な私もできる針供養	③針供養
2522	すずらん	針供養光る引退セレモニー	③針供養
2523	かえるＬ	半開く口に唐揚げ捧げる子	①真実の口
2524	かえるＬ	豆まきの痛みを知って父になる	②節分
2525	かりん	寒いでしょ鬼も内です福は内	②節分